SHARP

カラー液晶ファクシミリ複合機

UX-MF70/UX-MF80 シリーズ

(ユーエックス エム エフ / ユーエックス エム エフ)

パソコン活用マニュアル

Ver.1.0

スタート

この [スタート] ボタンをクリックしてください。

はじめに

本マニュアルは、カラー液晶ファクシミリ複合機UX-MF70/80シリーズのパソコンから使用できる機能について説明しています。

下記項目に関しては、付属の取扱説明書をご覧ください。

- 取り扱いについて（用紙の補給方法、インクカートリッジの交換方法、紙づまりの処置、プリンタエラーの解除方法、ドライバのインストール方法※、その他周辺装置の取り扱い）
- 電話機能、ファクス機能、コピー機能
- 本機の操作でスキャン・プリントする方法
- 仕様

- 本マニュアルでは、画面の説明や操作手順は Windows Vista 環境でお使いになる場合を主体に説明しています。Windows のバージョンにより表示される画面が異なることがあります。
- OS（オペレーティングシステム）の機能および操作方法の詳細については、必要に応じて各 OS の取扱説明書またはヘルプを参照してください。
- 本マニュアルで使用している複合機のイラストは、おもに UX-MF70 シリーズのものです。

商標について

- Microsoft® Windows® operating systemは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows® 2000、Windows® XP および Windows Vista™、Internet Explorer® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Copyright © 1987-2003 Adobe Systems Incorporated and its licensors. All rights reserved. Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Adobe PDF ロゴ、Distiller、および Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- SD メモリーカードは松下電器産業株式会社、サンディスク社、株式会社東芝の商標です。
- マルチメディアカード（MultiMediaCard）は独 Infineon Technologies AG 社の登録商標です。
- その他、マニュアルの中で記載されている会社名や商品名は各社の商標または登録商標です。

このマニュアルの読みかた

次の説明をご覧になって操作方法をご確認のうえ、本マニュアルをお読みください。
Adobe Reader の操作や機能については、Adobe Reader のヘルプをご覧ください。

マニュアルの操作について

このマニュアルには、各ページの下に次のボタンが表示されています。これらのボタンを使うと、目的のページがすばやく表示できます。

もくじ

クリックすると、もくじのページが表示されます。各項目からそれぞれのページへ移動できます。

索引

クリックすると、索引のページが表示されます。各項目からそれぞれのページへ移動できます。

クリックすると、次のページへ進みます。

クリックすると、ひとつ前のページへ戻ります。

リンクを使って移動するには

このマニュアルでは、リンク機能を使って関連ページへ移動できます。下線の引かれた緑色の文字をクリックすると、関連ページが表示されます。(もくじと索引の項目には、下線はありません。)

例：☞ もくじ

移動先から移動前のページに戻るには、Adobe Reader のツールバーにあるボタンをクリックします。

しおりから移動するには

このマニュアルの左側には「しおり」が表示されています。しおりはもくじと同様です。しおりの項目をクリックすることで目的のページへ移動することができます。

このマニュアルを印刷するには

Adobe Reader の [ファイル] メニューから [印刷] を選択します。「印刷」ダイアログボックスで各種設定をしたあと、[OK] ボタンをクリックしてください。

もくじ (part 1)

1 パソコンから印刷する

もくじ (part 2)

2 パソコンや本機からスキャンする

3 パソコンで本機を活用する

もくじ (part 3)

4 Web画面を使って設定する(LAN接続時のみ)

5 こまったときは

6 索引

印刷の準備

プリンタドライバのインストール

本機をプリンタとして使用するには、付属の CD-ROM からプリンタドライバをインストールする必要があります。プリンタドライバのインストール方法は、接続方法に合わせて、付属の取扱説明書の「インストール」の項の「USB 接続でお使いになるとき」または「LAN 接続でお使いになるとき」をご覧ください。
本機の印刷機能は、Windows Vista/XP/2000(USB 接続)、Windows Vista/XP/2000 SP4 以降(LAN 接続)で使用できます。
☞プリンタドライバの確認

ケーブルの接続

プリンタドライバをインストールする際に、本機をお使いのパソコンまたはネットワークに接続します。
パソコンへの接続には USB ケーブル、ネットワークへの接続には LAN ケーブルを使用します。ケーブルの接続方法は、付属の取扱説明書の「USB 接続でお使いになるとき」または「LAN 接続でお使いになるとき」をご覧ください(インストール時の USB ケーブルの接続は、必ず画面の指示にしたがって行ってください)。
印刷前にもう一度、ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

インクカートリッジのセット

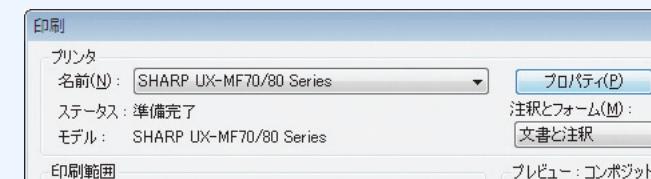
本機のインクカートリッジは、黒インクカートリッジ、カラーインクカートリッジ、フォトインクカートリッジの 3 種類があります。印刷の用途に応じて本機にセットするインクカートリッジを変更してください。
カラー写真や特殊な文書を印刷するときは、色をより鮮明にするために、黒インクカートリッジを取りはずしてフォトインクカートリッジを取り付けます。フォトインクカートリッジとカラーインクカートリッジを併用すると、ほとんどインクの粒子が見えない写真に仕上がります。

印刷データの種類	使用するインクカートリッジ	
	インクキャリッジの左側	インクキャリッジの右側
文書やイラストなど	カラーインクカートリッジ	黒インクカートリッジ
写真		フォトインクカートリッジ

- カラーインクカートリッジは、必ずインクキャリッジの左側に取り付けてください。
- 黒インクカートリッジまたはフォトインクカートリッジは、必ずインクキャリッジの右側に取り付けてください。

本機は、一方のインクが切れたときなど、インクカートリッジが 1 つでも取り付けられていれば印刷可能です。
☞インクバックアップモードについて

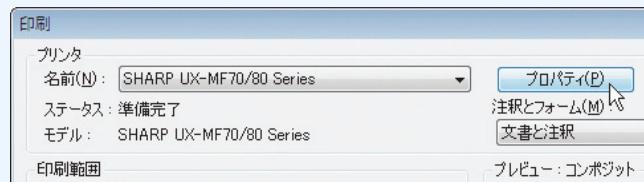
基本的な印刷のしかた (part 1)

ここでは例としてアプリケーション「Adobe Reader」から印刷する手順を説明します。
印刷する前に、印刷データに合ったサイズの用紙が本機にセットされているか確認してください。

1 印刷したいPDFファイルをAdobe Readerで開く

2 [ファイル]メニューから[印刷]を選択する

「印刷」ダイアログボックスが表示されます。

3 「SHARP UX-MF70/80 Series」プリンタドライバが選択されているか確認する

- プリンタドライバの選択欄がドロップダウンリストのときは、リストから「SHARP UX-MF70/80 Series」または「SHARP UX-MF70/80 Series (LAN)」プリンタドライバを選択します。
- プリンタドライバがアイコンで表示されているときは、「SHARP UX-MF70/80 Series」または「SHARP UX-MF70/80 Series (LAN)」プリンタドライバアイコンをクリックします。

メモ
通常使うプリンタに設定すると、次回からは自動的に「SHARP UX-MF70/80 Series」または「SHARP UX-MF70/80 Series (LAN)」が選択されます。

基本的な印刷のしかた (part 2)

4 印刷時の設定を行う場合は、[プロパティ] ボタンをクリックする

プリンタドライバの設定画面が表示されます。

Windows 2000 は、[プロパティ] ボタンは表示されません。「印刷」ダイアログボックスのタブを切り替えて各設定を行います。

☞プリンタドライバ設定画面の操作方法、
[詳細設定] タブの設定、
印刷設定をかんたんに行う（[印刷機能のショートカット] タブ）、[機能] タブの設定、
[カラー] タブの設定、プリンタサービスについて

メモ　プリンタドライバの設定画面を開くためのボタンは、[詳細設定] や [印刷設定] など、お使いのアプリケーションによって異なります。

5 [OK] ボタンをクリックする

印刷が開始されます。

印刷するためのボタンは、［印刷］など、お使いのアプリケーションによって異なります。

印刷中に用紙がなくなったときは

用紙トレイに用紙を補給し、本機の （決定ボタン）を押してください。

印刷を中止するには

[スタート] ボタン ( ) → [コントロールパネル] とクリックして、[プリンタ] をダブルクリックします。次に「SHARP UX-MF70/80 Series」または「SHARP UX-MF70/80 Series（LAN)」プリンタドライバアイコンをダブルクリックします。印刷キューの画面が表示されたら、中止したいデータをクリックして [ドキュメント] メニューから「キャンセル」を選択してください。

印刷中の場合は、本機の (プリント中止) を押して中止することもできます。

インクバックアップモードについて

本機は、一方のインクが切れたときなど、インクカートリッジが１つでも取り付けられていれば印刷可能です。(「インクバックアップモード」と呼びます。）一方のインクカートリッジをインクキャリッジから取りはずすと、インクバックアップモードになります。ただし、最適な印刷品位を得るためには、２種類とも取り付けた状態でお使いいただくことをお勧めします。
取り付けられているインクカートリッジの種類によって、印刷結果は次のようになります。

インクカートリッジの種類	印刷結果
黒インクカートリッジのみ	カラーはグレースケールとして印刷されます。
カラーインクカートリッジのみ	黒はカラーインクで印刷され、純粋な黒にはなりません。
フォトインクカートリッジのみ	カラーはグレースケールとして印刷されます。

ご注意

- インクバックアップモードは、通常よりも印刷が遅くなります。
- フチ無し印刷はインクバックアップモードで行わないでください。
- インクバックアップモードでフォトインクカートリッジを使用することはお勧めしません。
- USBケーブルでパソコンと接続している場合、インクバックアップモードで印刷をするたびに、「プリントカートリッジがありません。」と警告ウィンドウが表示されます。

ステータスモニタについて

ステータスモニタとは

USB 接続でプリンタドライバをインストールすると、「ステータスモニタ」が自動的にインストールされます。ステータスモニタは本機（プリンタ機能）の状態を監視し、エラーなどが発生するとお知らせするユーティリティソフトです。
ステータスモニタのアイコンは、画面右下のタスクバーに常駐します。

また、ステータスモニタのアイコンを右クリックすると、下記のメニュー画面が表示されます。

① **状態の表示**
クリックすると、本機の状態を確認することができます。
☞ 状態の表示画面について

② **状態の監視を停止（再開）する**
ステータスモニタによる状態の監視を停止（停止中は再開）します。パソコンを再起動すると、自動的に再開します。

③ **バージョン情報**
ステータスモニタのバージョン情報を表示します。

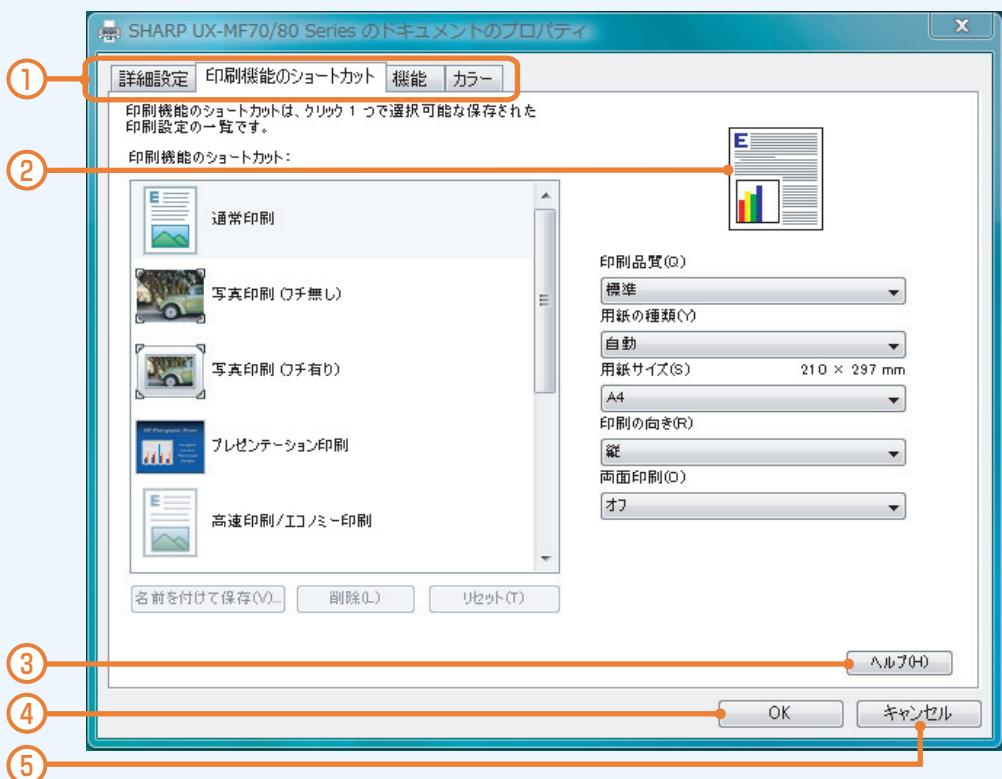
④ **SHARP ステータスモニタを閉じる**
ステータスモニタを終了します。再びステータスモニタを起動させるには、パソコンを再起動してください。

状態の表示画面について

① **アラート時に音を鳴らす**
チェックすると、エラーなどが発生したときに警告音が鳴ります。

② **インク残量の表示**
クリックするとツールボックスが開き、各インクカートリッジのおおよそのインク残量がイラストで表示されます。

③ **本機（プリンタ機能）のステータス**
本機の状態について説明しています。

④ **[OK] ボタン**
クリックすると、この画面を閉じます。

プリンタドライバ設定画面の操作方法 (part 1)

アプリケーションの印刷画面で [プロパティ] ボタンをクリックすると、プリンタドライバの設定画面が表示され、印刷設定を行うことができます。設定を変更後は必ず [OK] ボタンをクリックしてください。

Windows 2000 をお使いの場合、印刷画面に [プロパティ] ボタンは表示されません。印刷画面に表示されるタブを切り替えて印刷設定を行ってください。

① **タブ**
各設定はタブによってグループ分けされています。タブをクリックすると、そのタブの設定に切り替わります。
☞[詳細設定] タブの設定、
印刷設定をかんたんに行う ([印刷機能のショートカット] タブ)、
[機能] タブの設定、
[カラー] タブの設定、
プリンタサービスについて

② **印刷イメージ**
設定した項目に応じて、その場合の印刷状態をイメージで表示します。

③ **[ヘルプ] ボタン**
ヘルプについての説明が表示されます。

④ **[OK] ボタン**
設定内容を保存し、設定画面を閉じます。

⑤ **[キャンセル] ボタン**
設定内容を適用せずに設定画面を閉じます。

プリンタドライバ設定画面の操作方法 (part 2)

ヘルプについて

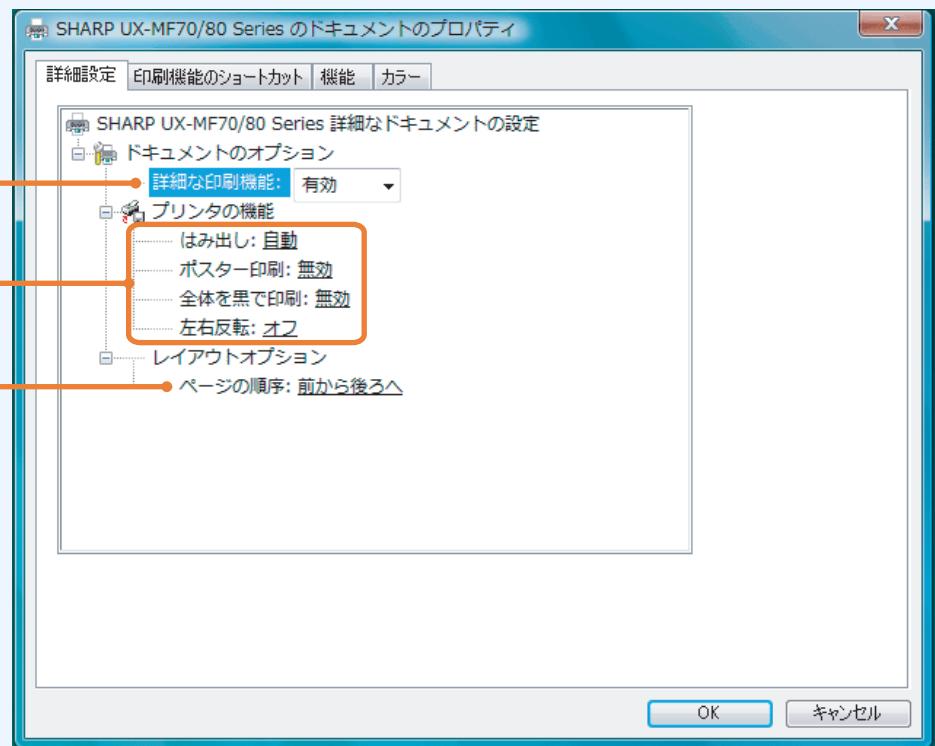
Windows Vista をご利用のときは、設定項目を右クリックすると、その設定項目に対するヘルプをご覧になれます。
それ以外の Windows をご利用のときは、プリンタドライバ設定画面右上の ? ボタンをクリックしたあと設定項目をクリックすると、その設定項目に対するヘルプをご覧になれます。

[スタート] ボタン（ ）からプリンタドライバを開く

プリンタドライバの設定画面は、以下の手順で表示させることができます。ここで設定した内容は保存され、アプリケーションから印刷するときの初期設定になります（ただし、お使いになるアプリケーションによっては、アプリケーション特有の設定が優先される場合があります）。印刷時にプリンタドライバの設定画面で変更した設定は、アプリケーションを終了すると無効になります。

1 [スタート] ボタン（ ）をクリックし、[プリンタ] をクリックする

Windows XP をお使いの場合は、[スタート] ボタンをクリックし、[プリンタと FAX] をクリックします。
Windows 2000 をお使いの場合は、[スタート] ボタンをクリックし、[設定] → [プリンタ] を選択します。

メモ
Windows Vista をお使いの場合、[スタート] メニューに [プリンタ] が現れないときは、[コントロールパネル] → [プリンタ] の順に選択してください。
Windows XP をお使いの場合、[スタート] メニューに [プリンタと FAX] が現れないときは、[コントロールパネル] → [プリンタとその他のハードウェア] → [プリンタと FAX] の順に選択してください。

2 「SHARP UX-MF70/80 Series」または「SHARP UX-MF70/80 Series（LAN)」プリンタドライバアイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択する

3 [全般] タブの [印刷設定] ボタンをクリックする

[詳細設定] タブの設定

この画面では、印刷の設定、順序などの設定ができます。

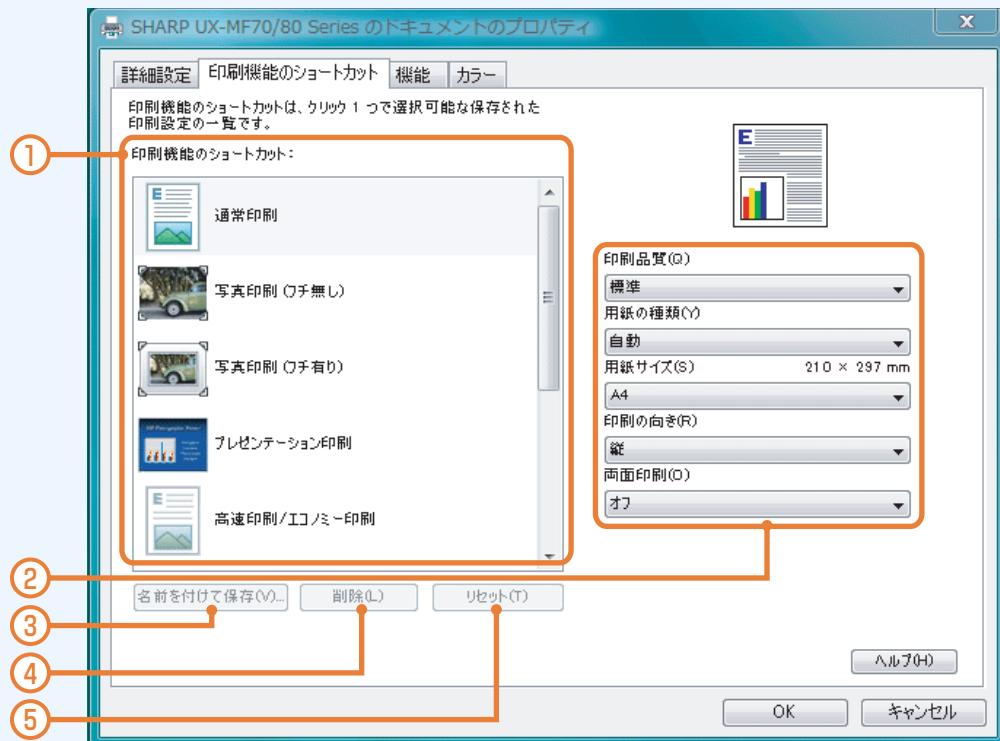
① 詳細な印刷機能

詳細な印刷機能を有効にするかどうかを設定します。通常は「有効」のままご使用ください（特別な問題が発生しない限り、「無効」にする必要はありません）。

② プリンタの機能

- **はみ出し**
  フチ無し印刷時、画像が用紙からはみ出る量を設定できます。
- **ポスター印刷**
  1 ページの印刷データを拡大し、複数枚の用紙に分割して印刷することができます。「2x2」（4 枚）、「3x3」（9 枚）、「4x4」（16 枚）、「5x5」（25 枚）から選択できます（ポスター印刷）。
- **全体を黒で印刷**
  テキストデータのカラー情報を無視し、すべて黒色で印刷します。写真やイラストなどの画像の印刷には適用されません。
- **左右反転**
  画像を左右反転させて印刷するときに設定します。

③ ページの順序

複数のページを印刷したとき、印刷された用紙の順序が、最初のページからか、最後のページからかを設定します。

本機は印刷面を上向きにして用紙を排紙するため、最初は、ページ順と逆順で印刷するように設定されています。[後ろから前へ] を選択すると、印刷された用紙はページ順と逆順にならびます。

印刷設定をかんたんに行う（[印刷機能のショートカット] タブ）（part 1）

プリンタドライバの設定画面の [印刷機能のショートカット] タブでは、印刷設定があらかじめ 8 種類登録されており、他のタブを表示させなくても、印刷物の用途に合わせてかんたんに印刷設定を行うことができます。

① 印刷機能のショートカット

印刷物の用途に合わせて、印刷機能名を選択します。
あらかじめ登録されている印刷機能は次のとおりです。

- 通常印刷 • 写真印刷（フチ無し） • 写真印刷（フチ有り）
- プレゼンテーション印刷 • 高速印刷 / エコノミー印刷
- ポストカード印刷 • 両面印刷 • はがき印刷 • 初期設定

☞「印刷機能のショートカット」について

② 設定値

選択した印刷機能の設定値が表示されます。設定値は印刷データに応じて変更できます。メニューから選択してください。設定できる項目は、選択した印刷機能によって異なります。また、「初期設定」の設定値は、変更することができません。

③ 名前を付けて保存

設定値を変更した印刷機能を、名前を付けて保存することができます（最大 9 種類）。

④ 削除

名前を付けて保存した印刷機能を削除することができます。ただし、あらかじめ登録されている印刷機能は削除できません。

③ リセット

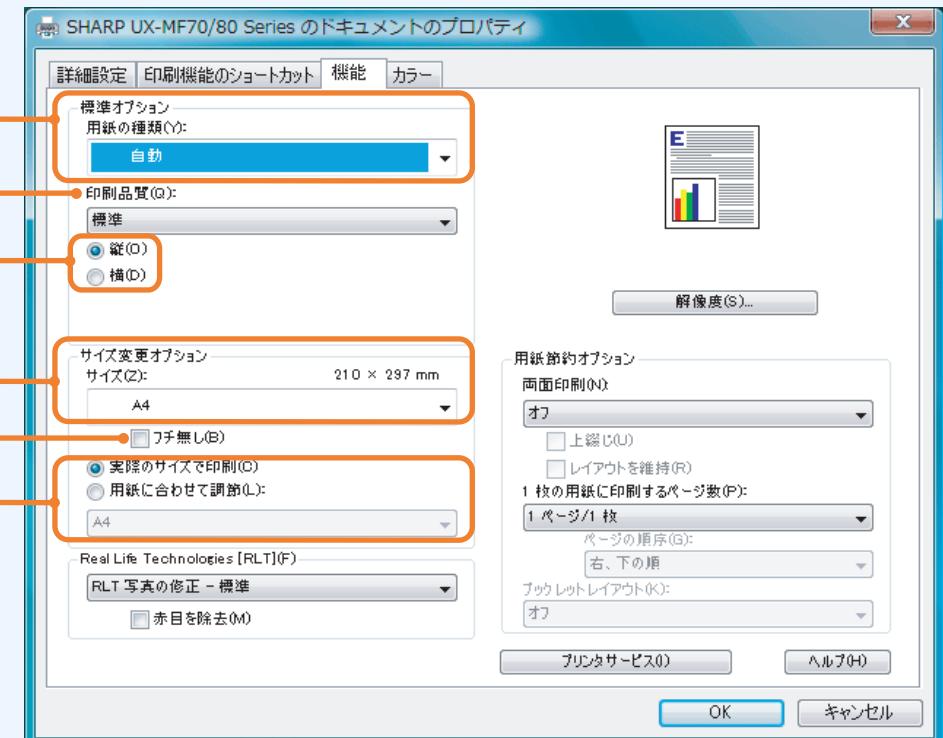
設定値を変更した印刷機能を、元の状態に戻すことができます。

印刷設定を詳細に設定する場合や透かしを付けて印刷する場合は、[詳細設定]、 [機能]、[カラー] のタブで設定してください。

☞[詳細設定] タブの設定、[機能] タブの設定、[カラー] タブの設定

印刷設定をかんたんに行う（[印刷機能のショートカット]タブ）（part 2）

「印刷機能のショートカット」について

プリンタドライバにあらかじめ登録されている印刷機能のショートカットは次のとおりです。

実行する機能	用途	設定できる項目
通常印刷	標準品質で印刷するための設定ができます。	印刷品質、用紙の種類、用紙サイズ、印刷の向き、両面印刷
写真印刷 - フチ無し	高画質でフチ無しカラー印刷するための設定ができます。	印刷品質、用紙の種類、用紙サイズ、印刷の向き、Real Life Technologies [RLT]
写真印刷 - フチ有り	高画質でフチ有りカラー印刷するための設定ができます。	印刷品質、用紙の種類、用紙サイズ、印刷の向き、Real Life Technologies [RLT]
プレゼンテーション印刷	プレゼン用の資料など画像を含む文書データを印刷するのに適した印刷設定ができます。	印刷品質、用紙の種類、用紙サイズ、印刷の向き、部数
高速印刷/エコノミー印刷	高画質の画像を含むデータをためし刷りする場合や、用紙やインクを節約して印刷するための設定ができます。	印刷品質、用紙の種類、用紙サイズ、印刷の向き、両面印刷、1枚の用紙に印刷するページ数、グレースケールで印刷、部数
ポストカード印刷	イラストや画像を含むカラーデータをインデックスカードに印刷するのに適した印刷設定ができます。	印刷品質、用紙の種類、用紙サイズ、印刷の向き、Real Life Technologies [RLT]
両面印刷	用紙の両面に印刷するための設定ができます。	印刷品質、用紙の種類、用紙サイズ、両面印刷
はがき印刷	年賀状などイラストや画像を含むカラーデータをはがきに印刷するのに適した印刷設定ができます。 ※フチ無しで正しく印刷されないときは、両面印刷を「オフ」にしてください。	印刷品質、用紙の種類、用紙サイズ、印刷の向き、両面印刷、Real Life Technologies [RLT]

[機能] タブの設定 (part 1)

この画面では、用紙や印刷品質に関する設定ができます。

① 用紙の種類

用紙トレイにセットした用紙の種類を設定します。

☞用紙の種類について

② 印刷品質

印刷時の画質を設定します。

☞印刷品質について

③ 印刷の向き

用紙に対して印刷の向きを、縦向きにするか横向きにするかを設定します。

④ 用紙サイズ

印刷する用紙サイズを設定します。

☞用紙サイズについて

⑤ フチ無し印刷

チェックすると、用紙サイズがフチ無しの設定（余白無しで用紙全体が印刷範囲）になります。また、フチ無し印刷時に「フチ無し自動調整」をチェックすると、用紙のサイズに合わせて画像の大きさを自動的に調整します。

メモ

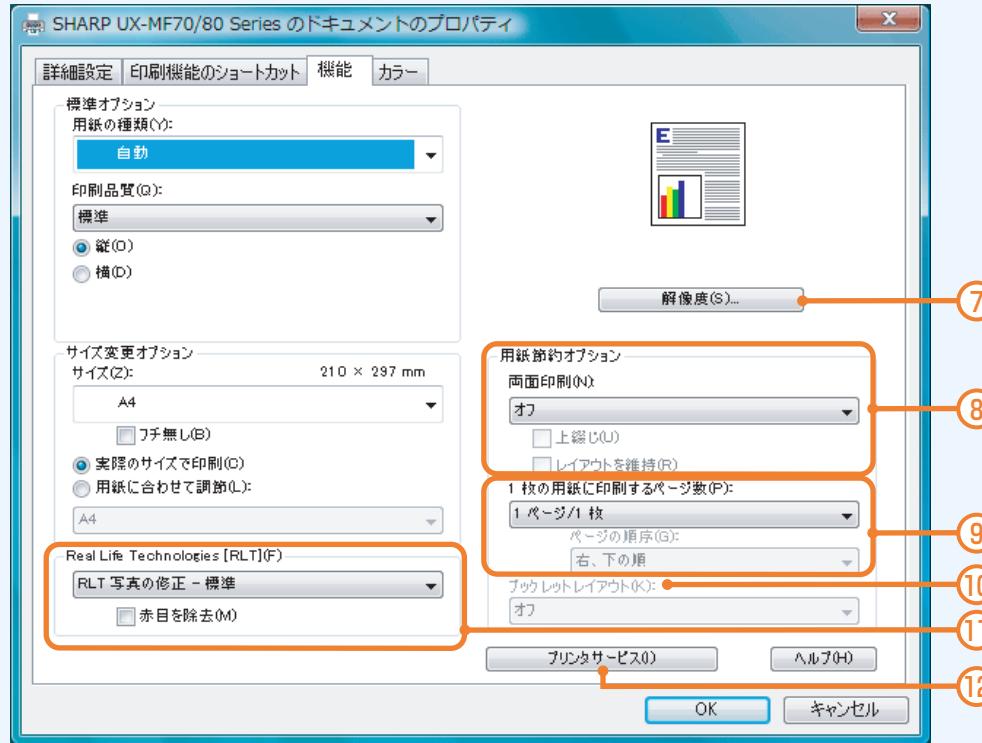
- 「フチ無し印刷」チェックボックスにチェックができない用紙サイズでは、フチ無し印刷はできません。
- 「用紙サイズ」、「用紙の種類」、「印刷品質」で一部設定できない組み合わせがあります。

⑥ 実際のサイズで印刷／用紙に合わせて調節

特定の用紙サイズに設定されている印刷データを異なるサイズの用紙に印刷することができます。

用紙サイズに合わせて印刷データを拡大または縮小することもできます。

１枚の用紙に複数のページを印刷する設定にしているときは、この項目を選択することはできません。

☞異なるサイズの用紙に印刷するには

☞[機能] タブの説明（続き）

[機能] タブの設定 (part 2)

[機能] タブの説明（続き）

⑦ **解像度**
現在の解像度の状態が確認できます。

⑧ **両面印刷**
用紙の両面に印刷するときに選択します。
☞両面印刷について

- **上綴じ**
用紙の上側で綴じることができるように両面印刷するときに選択します。
☞両面印刷について

- **レイアウトを維持**
両面印刷時、両面を調整するために文書の上のマージンが大きくなることがあります。これによりレイアウトが変わってしまう場合は、［レイアウト維持］をチェックしてください。

⑨ **1 枚の用紙に印刷するページ数**
複数ページの印刷データを縮小し、用紙 1 枚につき複数ページをまとめて印刷します。
☞1 枚の用紙に複数のページを印刷する

⑩ **ブックレットレイアウト**
この機能を設定すると、印刷された用紙を中央で二つ折りにすると中とじ状の冊子になるように、1 枚の用紙のうらおもてにそれぞれ 2 ページ分ずつ両面印刷（1 枚の用紙に最大 4 ページ分の印刷）します。
☞ブックレットレイアウトについて

⑪ **[Real Life Technologies [RLT]] ボタン**
「Real Life Technologies [RLT] 」を使った写真の修整の度合いを設定します。
写真の赤目を除去または軽減するには、［ 赤目を除去 ］のチェックボックスをチェックします。

⑫ **プリンタサービス**
クリックすると、プリンタサービス画面が表示され、印刷の調整やインクカートリッジのクリーニングなどが行えます。
☞プリンタサービスについて

[機能] タブの設定 (part 3)

用紙サイズについて

作成した印刷データの用紙サイズをドロップダウンリストから選びます（下記は代表的なものです）。

用紙サイズ	サイズ
A4	210mm x 297mm
A5	148mm x 210mm
A6	105mm x 148mm
B5	182mm x 257mm
キャビネット判	120mm x 165mm
はがき	100mm x 148mm
L 判	89mm x 127mm
2L 判	127mm x 178mm
ユーザー設定	最小:76.2mm x 127.0mm(3.00" x 5.00") 最大:215.9mm x 355.6mm(8.50" x 14.00")

- 通常本機には、ここで設定したサイズの用紙をセットしてください。異なるサイズの用紙をプリンタにセットすると、正しく印刷できない場合があります。用紙のセットのしかたについては、取扱説明書の「プリント用紙をセットする」をご覧ください。
- 「フチ無し印刷」チェックボックスにチェックができない用紙サイズでは、フチ無し印刷はできません。

任意の用紙サイズを指定するには

選択肢にない用紙サイズは、[ユーザー設定] に登録することで選択できます。

1 「サイズ変更オプション」の「サイズ」から [ユーザー設定] をクリックする

Windows Vista をご利用で、「標準ユーザー」アカウントでログオンしているときは、[ユーザー設定] ボタンは表示されません。[ユーザー設定] ボタンを使用するときは、「管理者(Administrator)」アカウントでログオンしてください。

2 「名前」のメニューに任意の名称を入力する

3 単位を選択し、「用紙サイズ」に用紙サイズを入力する

フチ無し印刷を設定したい場合は、[フチ無し] チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けてください。

4 [保存] ボタンをクリックし、[OK] ボタンをクリックする

登録したユーザー定義サイズは、印刷の設定をいったん終了してからもう一度開くと、有効になります。

[機能] タブの設定 (part 4)

用紙の種類について

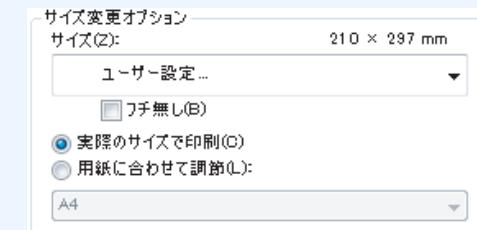
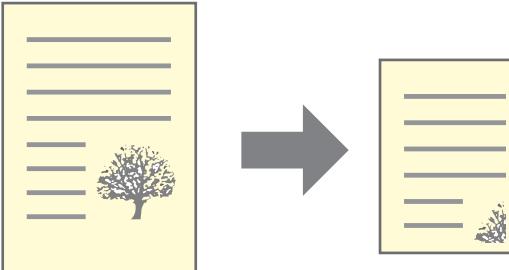
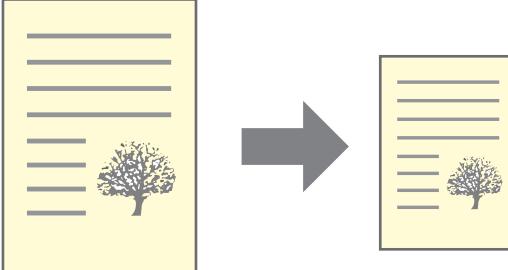
用紙トレイにセットした用紙の種類を選択することで、画像をよりきれいに印刷することができます。
[自動] を選択したときは、設定を自動的に選択します。用紙の種類が分からないときなどに選択してください。

[アイロンプリント紙] を選んだ場合、アイロンで転写したとき正像になるように印刷するには、プリンタドライバ設定画面の [詳細設定] タブで [左右反転] を [オン] に設定してください。
☞[詳細設定] タブの設定

印刷品質について

印刷の速さと印刷画質を設定します。[はやい（最速）] に設定すると、最少のインク消費量で最も速く印刷できますが、印刷品質は粗くなります。また [最大 dpi] に設定すると、最も高品質に印刷できますが、印刷速度が遅くなり、パソコンに大量のメモリ容量が必要になります。

はやい（最速）	テキストなどを高速に印刷したいときに選択します。ただし、グラフやイラスト、罫線などの画質は粗くなります。
はやい（標準）	グラフやイラストなどが入った文書を高速に印刷したい場合に選択します。画質は「きれい」、「高画質」、「最大 dpi」よりも若干粗くなります。
標準	画質、印刷速度ともに標準的な設定です。
高画質	写真画像などを高画質に印刷したい場合に選択します。
最大 dpi	写真画像などを最高画質で印刷したい場合に選択します。

「はやい（最速）」で印刷すると、罫線がずれる場合があります。罫線がずれた場合は「はやい（最速）」以外に指定してください。

[機能] タブの設定 (part 5)

異なるサイズの用紙に印刷するには

[文書を印刷する用紙] チェック欄をクリックしてチェックマークを付け、ドロップダウンリストから印刷する用紙サイズを選択します。ここでは、印刷データの用紙サイズではなく、実際に印刷する用紙のサイズを選択してください。

[用紙に合わせて調節] チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、用紙トレイにセットした用紙サイズに合わせて印刷データを拡大または縮小して印刷できます。
例：A4 サイズの印刷データを A5 サイズの用紙に印刷する場合

実際のサイズで印刷	用紙に合わせて調節
選択した用紙サイズに、印刷データに設定されたサイズのまま印刷されます。	印刷する用紙サイズに合わせて印刷データを拡大または縮小して印刷されます。

[機能] タブの設定 (part 6)

両面印刷について

用紙の両面に印刷するときは、次の手順で行います。

1 お使いのアプリケーションで [印刷] を選択し、本機のプリンタドライバが選択されていることを確認してプリンタドライバ設定画面を開く

☞基本的な印刷のしかた

2 [機能] タブをクリックする

3 [両面印刷] を選択する

上綴じで印刷するときは、[上綴じ] も選択してください。

メモ [両面印刷] を選択すると、[詳細設定] タブの「レイアウトオプション」で [後ろから前へ] が自動的に選択されます。

☞[詳細設定] タブの設定

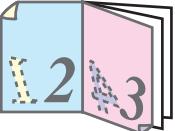
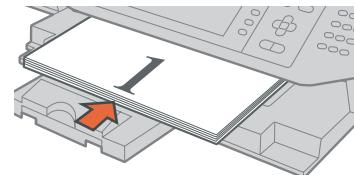
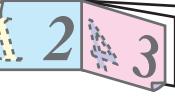
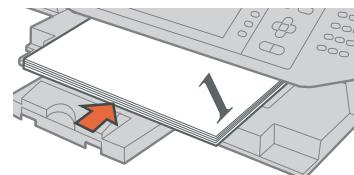
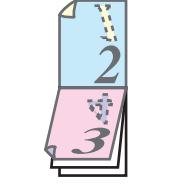
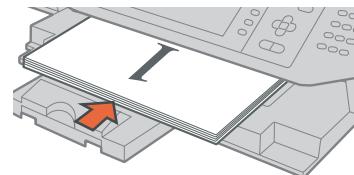
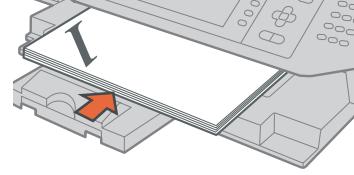
4 必要に応じてその他の印刷設定を行い、[OK] ボタンをクリックする

5 印刷を実行する

印刷を実行すると、奇数ページが最初に印刷されます。このとき、画面に「両面印刷の手順」ウィンドウが表示されます。

☞両面印刷について（続き）

[機能] タブの設定 (part 7)

両面印刷について（続き）

6 **奇数ページがすべて印刷されたら、印刷された面を上向きにし、画面の指示に従って用紙をセットし直す**

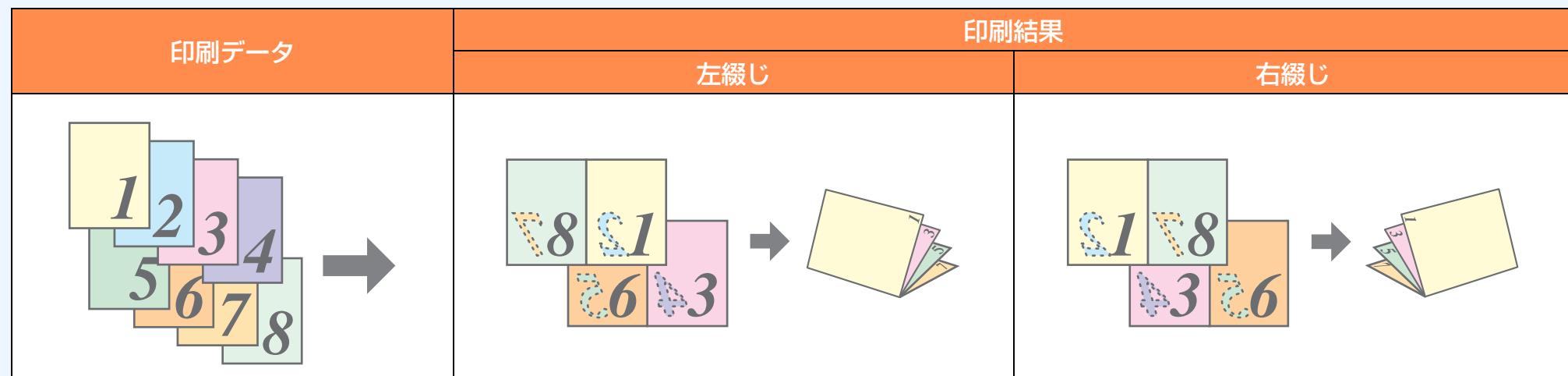
目的の印刷結果によって、右の表のように用紙をセットし直してください。

7 **「両面印刷の手順」ウィンドウの [続行] ボタンをクリックする**

偶数ページが印刷されます。

偶数ページ印刷時の用紙のセット方向

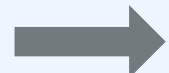
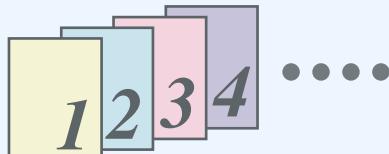
印刷結果	用紙のセット方向
例：A4 縦（ブックレット形式）	用紙の上部が奥側になるようにセットします。
例：A4 横（ブックレット形式）	用紙の上部が左側になるようにセットします。
例：A4 縦（上綴じ）	用紙の上部が手前側になるようにセットします。
例：A4 横（上綴じ）	用紙の上部が右側になるようにセットします。

ブックレットレイアウトについて

印刷された用紙を中央で二つ折りにすると中とじ状の冊子になるように、1 枚の用紙のうらおもてにそれぞれ 2 ページ分ずつ両面印刷（1 枚の用紙に最大 4 ページ分の印刷）します。
印刷物をパンフレットのように製本して仕上げるときに便利です。
この機能を使用するには、[両面印刷] を選択し、「ブックレットレイアウト」で [左綴じ] または [右綴じ] を選択してください。
たとえば 8 ページ分のデータを中とじ印刷すると次に示すような印刷結果になります。
印刷のしかたについては、「両面印刷について」を参照してください。

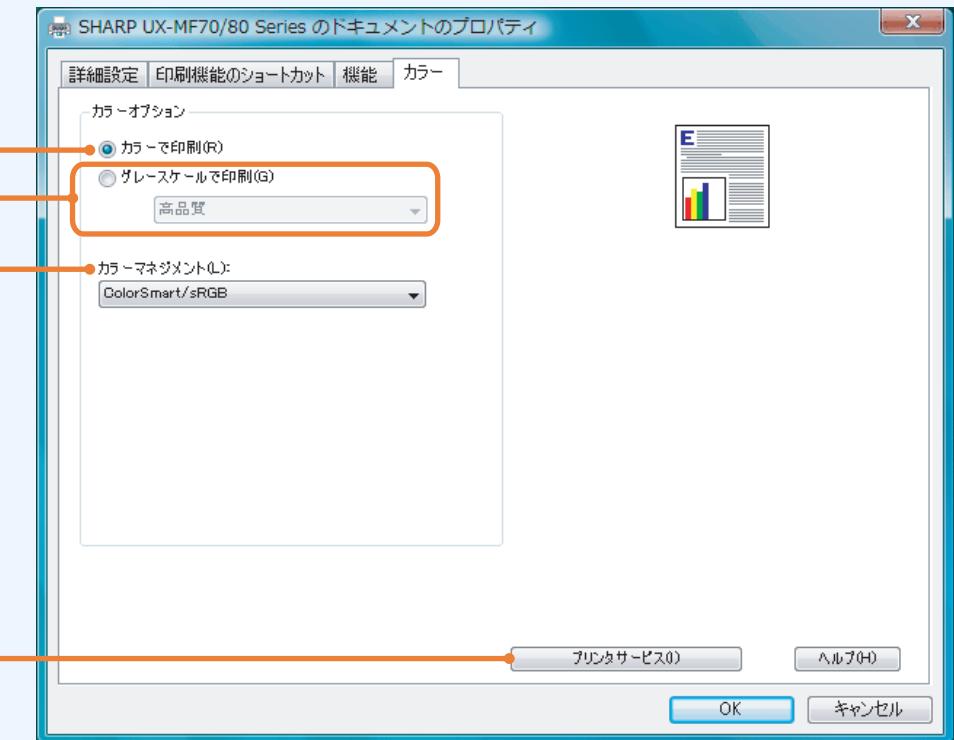
印刷データ	印刷結果	
	左綴じ	右綴じ

• 4 ページ分を 1 枚の用紙に印刷するため、印刷データの合計ページ数が 4 の倍数でないときは、自動的に最終ページ側に端数の白紙ページを設けて印刷します。
• 印刷データは縮小され、指定した用紙サイズに印刷されます。
• レイアウトイメージは、プリンタドライバ設定画面の印刷イメージで確認できます。
☞プリンタドライバ設定画面の操作方法

[機能] タブの設定 (part 9)

1 枚の用紙に複数のページを印刷する

2、4、6、9、16 ページの連続した印刷データを縮小して 1 ページに割り付けて印刷します。
この機能を使用するには、「用紙またはポスターに印刷するページ数」から、1 ページに割り付けるページ数（2、4、6、9、16）を選びます。
割り付ける順番は、「ページの順序」メニューで変更することができます。
たとえば、[2] または [4] を選択した場合、選択した「ページの順序」メニューによって次に示すような印刷結果になります。

用紙あたりのページ数	右、下の順	左、下の順
[2]	1 2 / 3 4	2 1 / 4 3

用紙あたりのページ数	右、下の順	下、右の順	左、下の順	下、左の順
[4]	1 2 3 4	1 3 2 4	2 1 4 3	3 1 4 2

- ここでは、「用紙あたりのページ数」で [2] と [4] を選択した場合を例にしています。[6]、[9]、[16] を選択した場合の印刷順序は、[4] を選択した場合と同様です。
- 割り付け順序は、プリンタドライバ設定画面の印刷イメージで確認できます。
☞プリンタドライバ設定画面の操作方法

[カラー] タブの設定

この画面では、写真などカラー画像を印刷するときのカラー設定や色調の補正ができます。

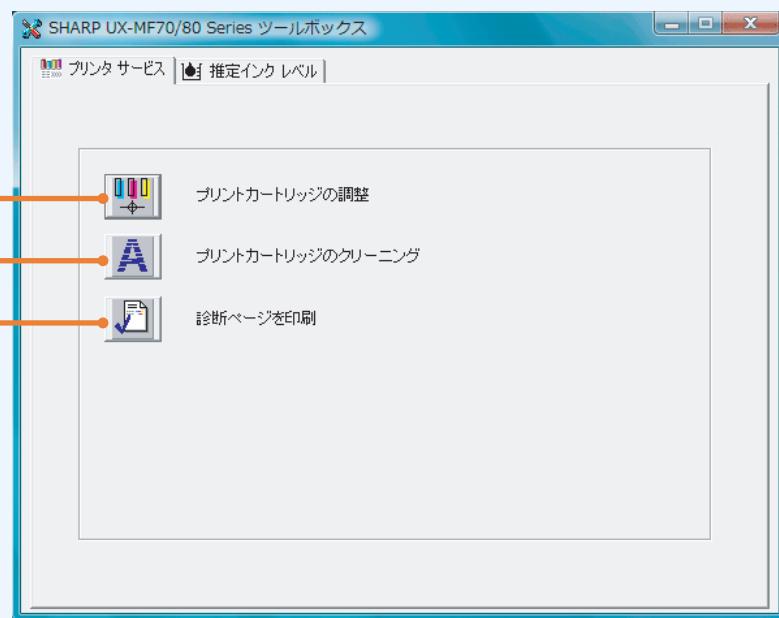
① **カラーで印刷**
カラーで印刷するときに選択します。

② **グレースケールで印刷**
カラーの印刷データをグレーの濃淡で印刷するときに選択します。グレースケールでの印刷は、[高品質] または [黒インクのみ] のいずれかを選択することができます。

- **[高品質]**
  写真やイラストなどをグレーの濃淡で印刷するのに適しています。カラーインクも使用されます。
- **[黒インクのみ]**
  文書などをグレーの濃淡で印刷するのに適しています。カラーインクは使用されません。

③ **カラーマネジメント**
印刷できるカラーの範囲を定義します。プリンタドライバによって、印刷データのカラーを現在のカラースペースから選択したカラースペースに変換します。
通常は [ColorSmart/sRGB] を選択してください。カラーイメージ、グラフィックス、テキストで AdobeRGB が使用されている場合は、[AdobeRGB] を選択してください。(sRGB よりもカラーレンダリング機能が向上しています。)

メモ
印刷データで AdobeRGB が使用されていない場合に [AdobeRGB] を選択すると、色がより鮮やかに印刷されることがあります。

④ **プリンタサービス**
クリックすると、プリンタサービス画面が表示され、印刷の調整やインクカートリッジのクリーニングなどが行えます。
☞プリンタサービスについて

プリンタサービスについて (part 1)

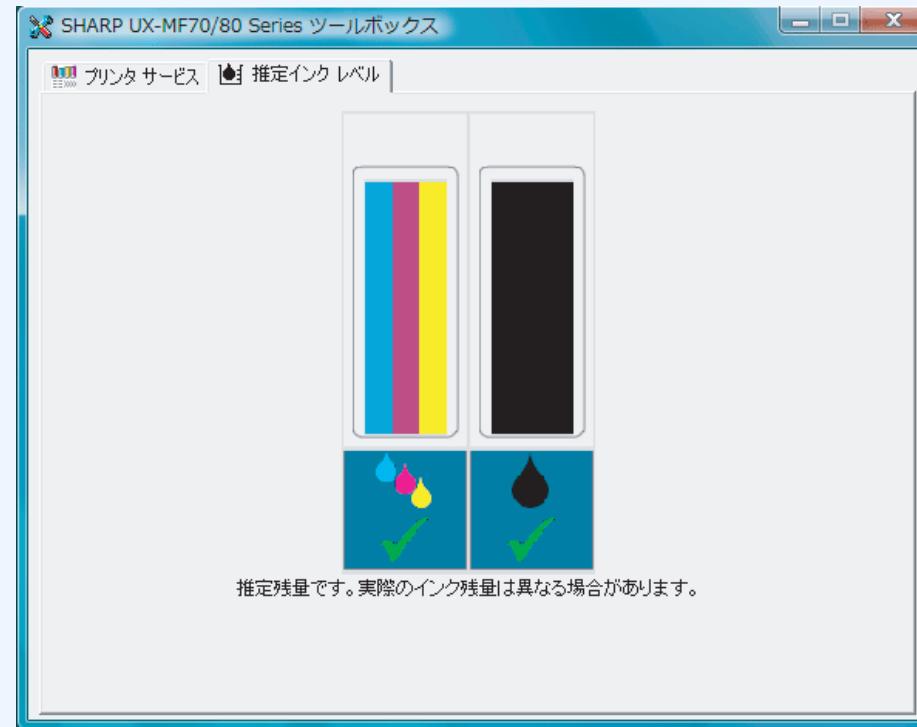
プリンタドライバ設定画面 [機能] タブまたは [カラー] タブの [プリンタサービス] をクリックすると、ツールボックス画面（メンテナンス画面）が表示されます。

[プリンタサービス] タブ

ツールボックスの [プリンタサービス] タブでは、印刷の調整やインクカートリッジのクリーニングが行えます。A4 の普通紙を 1 枚使用します。本機に用紙をセットし、各ボタンをクリックして画面の指示にしたがってください。

① **プリントカートリッジの調整（インクカートリッジの調整）**
インクカートリッジの調整ができます。

② **プリントカートリッジのクリーニング（インクカートリッジのクリーニング）**
印刷されたページの画像が欠けたりインクがかすれるときに行います。

③ **診断ページを印刷**
診断ページを印刷し、インクカートリッジのノズルの状態が確認できます。

[推定インクレベル] タブ（USB 接続時のみ）

ツールボックス（サービス）の [推定インクレベル] タブでは、各インクカートリッジのおおよそのインク残量をイラストで表示します。

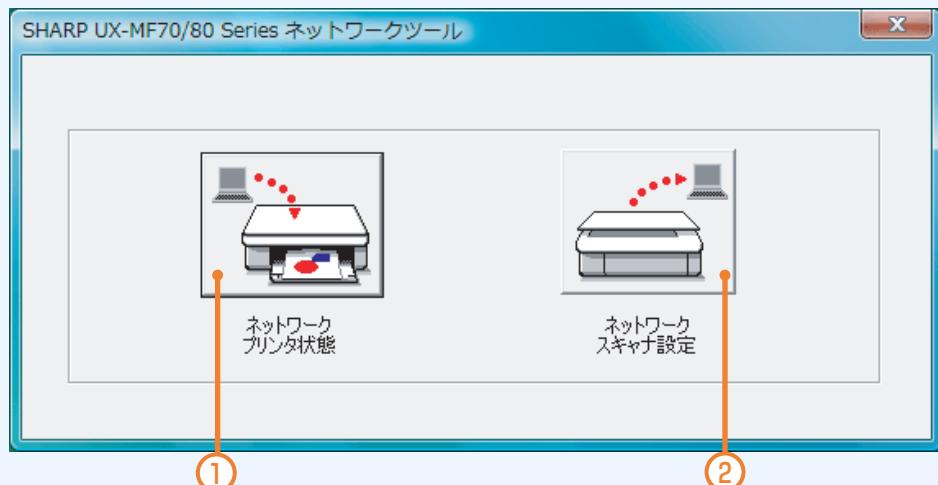
LAN 接続時は、ネットワークツールの「ネットワークプリンタ状態」でおおよそのインク残量を確認できます。
☞「ネットワークプリンタ状態」画面について

ネットワークツールについて（LAN 接続時のみ）(part 1)

ネットワークツールとは

LAN 接続でプリンタドライバをインストールすると、「ネットワークツール」が自動的にインストールされます。ネットワークツールは本機の状態を監視し、エラーなどが発生するとお知らせするユーティリティソフトです。また、LAN 接続で本機からパソコンへスキャンデータを送るために必要です。

ネットワークツールのアイコンは、画面右下のタスクバーに常駐します。

アイコンの表示は、下記の３種類です。

: ネットワークツールは起動しています。
: ネットワークツールは停止しています。
: 本機とパソコンが接続されていません。

アイコンが表示されていない場合は、ネットワークツールが起動していない可能性があります。
起動するときは [スタート] ボタン（ ）をクリックし、[すべてのプログラム] ※→ [SHARP UX-MF70_80] → [LAN] → [Network tool] を選択してください。

※ Windows 2000 をお使いの場合は [プログラム]

ネットワークツールのアイコンをダブルクリックすると、下記のメニュー画面が表示されます。

① [ネットワークプリンタ状態] ボタン
クリックすると、本機の状態を確認することができます。
☞「ネットワークプリンタ状態」画面について

② [ネットワークスキャナ設定] ボタン
クリックすると、本機からパソコンへスキャンデータを送るための設定ができます。
☞「ネットワークスキャナ設定」画面について

☞ ネットワークツールとは（続き）

ネットワークツールについて（LAN 接続時のみ）(part 2)

ネットワークツールとは（続き）

また、ネットワークツールのアイコンを右クリックすると、下記のメニューが表示されます。

① **状態**
クリックすると、本機の状態を確認することができます。
☞「ネットワークプリンタ状態」画面について

② **起動**
ネットワークツールを起動します（停止中のみ有効です）。

③ **停止**
ネットワークツールを停止します（起動中のみ有効です）。

④ **開く**
クリックすると、ネットワークツールのメニュー画面を表示します。

⑤ **バージョン情報**
ネットワークツールのバージョン情報を表示します。

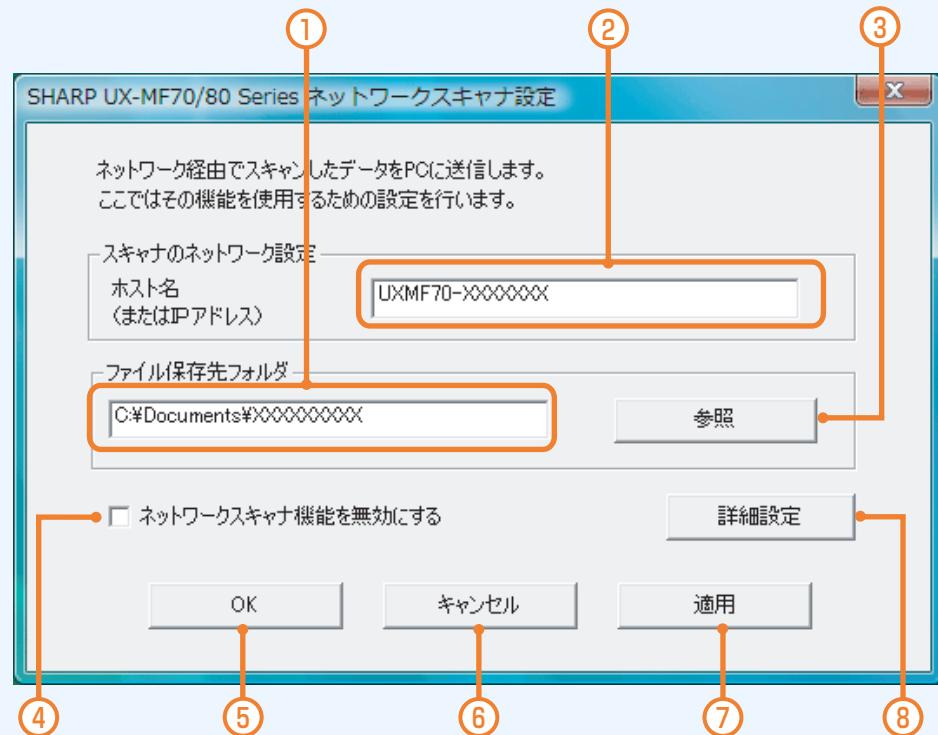
⑥ **終了**
ネットワークツールを終了します。起動するときは [スタート] メニューなどから「Network tool」を選択してください。

「ネットワークプリンタ状態」画面について

「ネットワークプリンタ状態」画面では、本機の接続状態およびインクカートリッジの状態を確認できます。

① **本機の接続状態**
本機とパソコンの接続状態を表示します。

② **インクカートリッジ注文サイトへのリンク**
クリックすると、インターネットに接続し、インクカートリッジを注文するためのサイトが表示されます。

③ **[OK] ボタン**
クリックすると、この画面を閉じます。

④ **インク残量**
本機に取り付けているインクの種類とおおよその残量を表示します。

インクの種類	カラー： 黒： フォト：
インクの残量	（多い） → （少ない）

ネットワークツールについて（LAN 接続時のみ）(part 3)

「ネットワークスキャナ設定」画面について

「ネットワークスキャナ設定」画面では、本機からパソコンへスキャンデータを送るための設定ができます。

① **ファイル保存先フォルダ**
本機の「スキャン」メニューから「ネットワーク PC へ送る」操作をしたときに、スキャンしたデータが保存されるフォルダが表示されます。

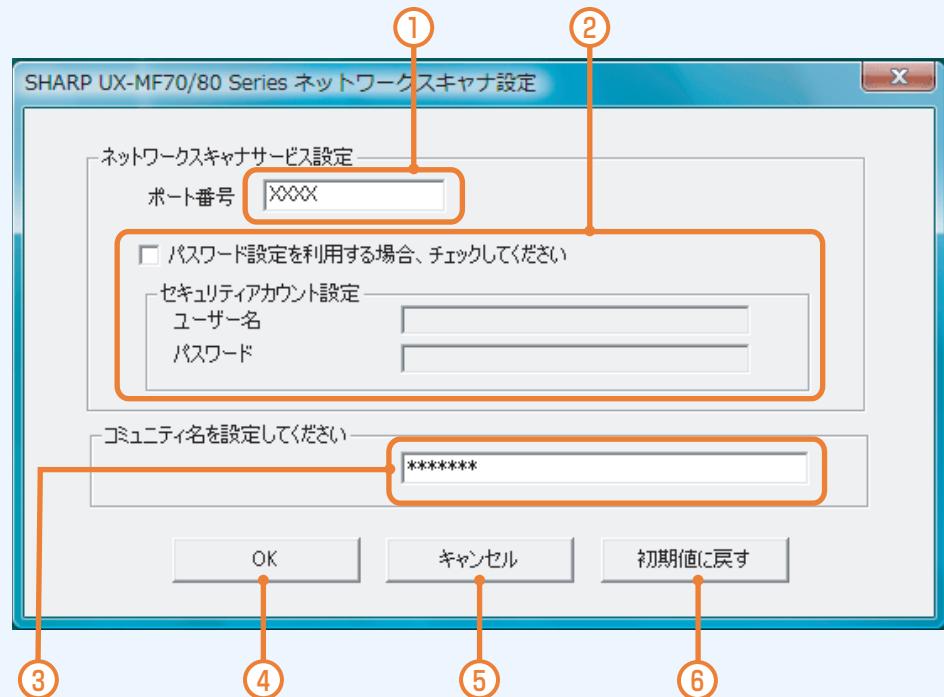
② **ホスト名（または IP アドレス）**
ホスト名として本機のアドレスが表示されます。

③ **[参照] ボタン**
クリックすると、「ファイル保存先フォルダ」を変更できます。

④ **ネットワークスキャナ機能を無効にする**
ここにチェックすると、本機からパソコンへスキャンデータを送れなくなります（エラー発生時のお知らせは行います）。

⑤ **[OK] ボタン**
クリックすると、この画面を閉じます。設定を変更したときは、変更した内容を反映して閉じます。

⑥ **[キャンセル] ボタン**
クリックすると、この画面を閉じます。設定を変更していても、変更は反映されません。

⑦ **[適用] ボタン**
クリックすると、設定した内容を反映します。

⑧ **[詳細設定] ボタン**
クリックすると、ネットワークスキャナの詳細設定画面を表示します。
☞詳細設定画面について

ネットワークツールについて（LAN 接続時のみ）(part 4)

詳細設定画面について

ネットワークスキャナの詳細設定画面では、本機からパソコンへスキャンデータを送る際の詳細な設定ができます。

① ポート番号

通常は自動的に入力されています。必要な場合は、手動で入力してください。

② パスワード設定

Web 画面で Anonymous 接続をしない設定にしたときは、「パスワード設定を利用する場合、チェックしてください」の左側のチェックボックス（ ）をクリックし、Web 画面で設定したユーザー名とパスワードを入力してください。同様に、ポート番号も、Web 画面で設定した番号を入力してください。

正しく入力されていないと、本機で読み取ったデータをパソコンに送れなくなります。

☞FTP 送信先を登録する

③ コミュニティ名

通常は自動的に入力されています。必要な場合は、手動で Web 画面のネットワーク設定ページと同じコミュニティ名を入力してください。

☞ネットワーク設定ページについて

④ [OK] ボタン

クリックすると、この画面を閉じます。設定を変更したときは、変更した内容を反映して閉じます。

⑤ [キャンセル] ボタン

クリックすると、この画面を閉じます。設定を変更していても、変更は反映されません。

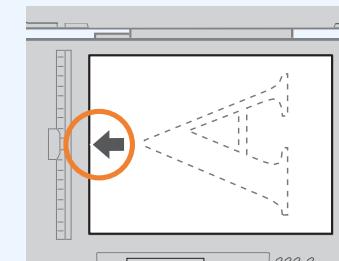
⑥ [初期値に戻す] ボタン

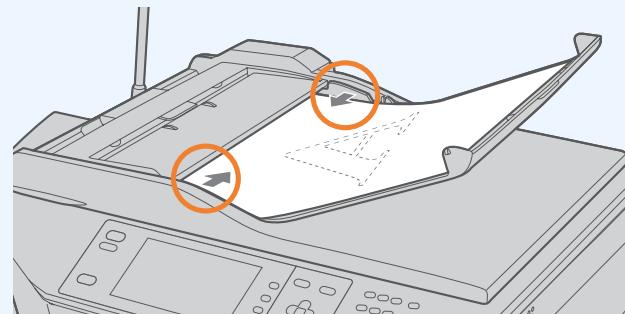
クリックすると、設定内容を初期値に戻します。

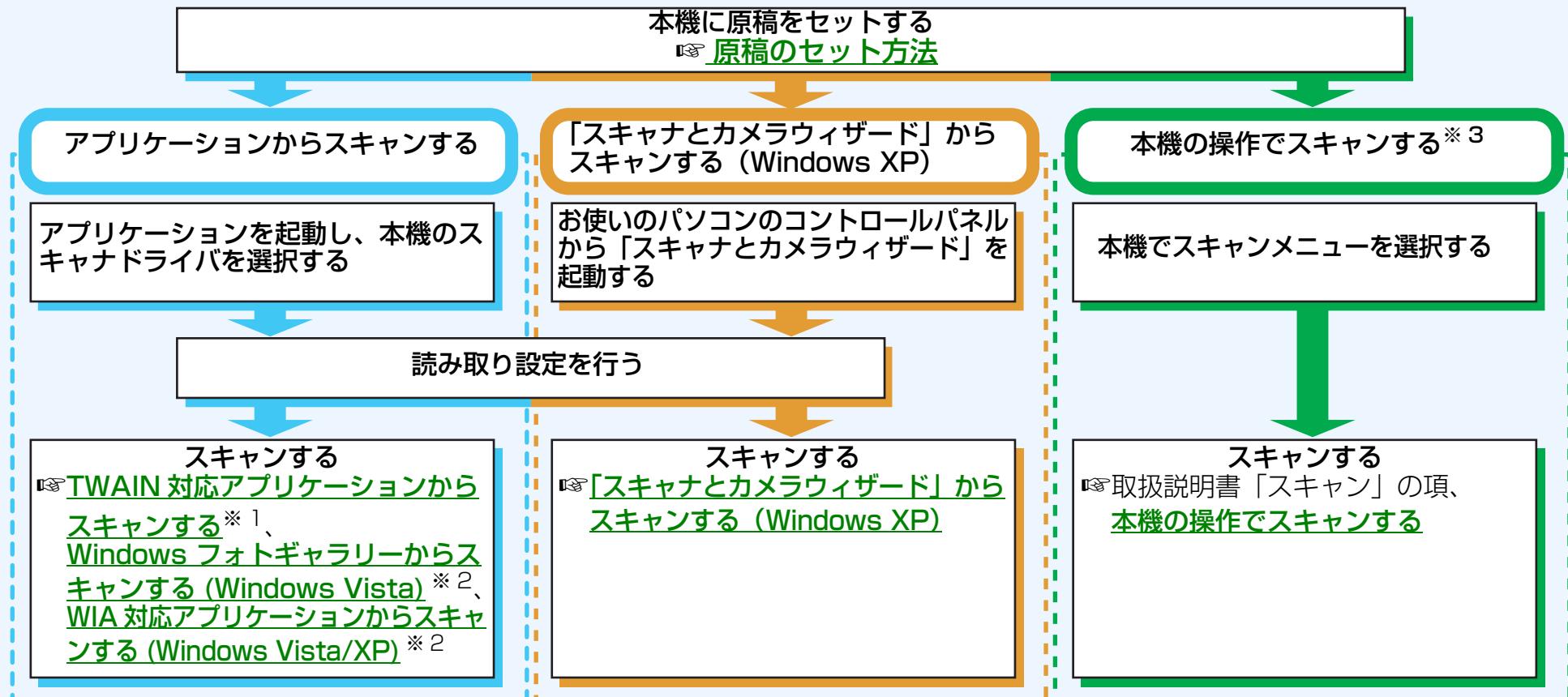
スキャナドライバのインストール

本機をスキャナとして使用するには、付属の CD-ROM からスキャナドライバをインストールする必要があります。
スキャナドライバのインストール方法は、付属の取扱説明書の「インストール」をご覧ください。本機のスキャナ機能は、Windows Vista/XP/2000 で使用できます。

ケーブルの接続

スキャナドライバをインストールする際に、本機とお使いのパソコンを USB ケーブルまたは LAN ケーブルで接続します。
ケーブルの接続方法は、付属の取扱説明書の「インストール」をご覧ください（ケーブルの接続は、必ず画面の指示にしたがって行ってください）。
スキャンする前にもう一度、本機側とパソコン側でケーブルが正しく接続されているか確認してください。

原稿のセット方法

原稿台へのセット（UX-MF70/80 シリーズ共通）

原稿カバーを開き、原稿を裏向きにセットします。原稿は、原稿台の左中央に合わせてセットしてください。

メモ　スキャンを行うときは、必ず原稿カバーを閉じてください。

ADF へのセット（UX-MF80 シリーズのみ）

原稿トレイを開き、ADF に原稿を裏向きにセットして、原稿ガイドを原稿の幅に合わせます。

スキャンの流れ

原稿をスキャンして画像を取り込むためのおおまかな流れは以下のようになります。

本機に原稿をセットする
☞ 原稿のセット方法

アプリケーションからスキャンする

アプリケーションを起動し、本機のスキャナドライバを選択する

読み取り設定を行う

スキャンする
☞TWAIN 対応アプリケーションからスキャンする※1、Windows フォトギャラリーからスキャンする (Windows Vista)※2、WIA 対応アプリケーションからスキャンする (Windows Vista/XP)※2

「スキャナとカメラウィザード」からスキャンする（Windows XP）

お使いのパソコンのコントロールパネルから「スキャナとカメラウィザード」を起動する

読み取り設定を行う

スキャンする
☞「スキャナとカメラウィザード」からスキャンする（Windows XP）

本機の操作でスキャンする※3

本機でスキャンメニューを選択する

スキャンする
☞取扱説明書「スキャン」の項、本機の操作でスキャンする

※1 TWAIN とは、スキャナなどのイメージデータ入力機器で使用されるインタフェース規格の1つです。TWAIN ドライバをパソコンにインストールすると、TWAIN 規格に応じたアプリケーションであれば、各アプリケーション上からイメージデータを読み取ることが可能になります。
※2 WIA（Windows Imaging Acquisition）は、スキャナやデジタルカメラなどのイメージングデバイスが画像処理アプリケーションと相互に通信することを可能にする Windows の機能です。本機の WIA ドライバは、Windows Vista および Windows XP にのみ対応しています。
※3 本機の操作でスキャンするには、スキャナドライバをインストールしたあとスキャナドライバのプロパティで設定を行う必要があります。

TWAIN 対応アプリケーションからスキャンする (part 1)

SHARP スキャナドライバは世界標準規格「TWAIN」に準拠しており、多くの TWAIN 規格対応のアプリケーションで使用することができます。Windows Vista ／ XP でご使用のときは、TWAIN ドライバが必要になります。TWAIN ドライバがない場合は、付属の CD-ROM に収録されている「Sharpdesk」をインストールすると、自動的に TWAIN ドライバもインストールされます。

スキャナの選択操作や画像の取り込み操作はお使いのアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションに付属の取扱説明書やヘルプをご覧ください。

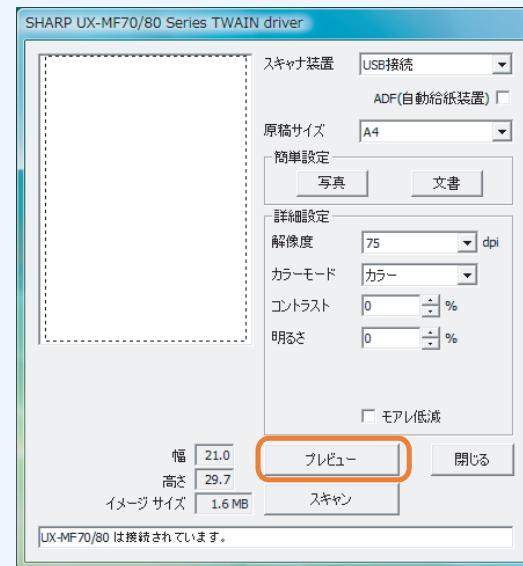
1 原稿をセットする

☞原稿のセット方法

2 TWAIN 対応のアプリケーションを起動し、[スキャナの選択] で [SHARP MFP TWAIN R] を選択する

メモ Windows Vista/XP をお使いの場合は、WIA 対応アプリケーションで [WIA-SHARP UX-MF70/80 Series] を選択すると、WIA ドライバを使ってスキャンすることができます。

☞Windows フォトギャラリーからスキャンする (Windows Vista)
☞WIA 対応アプリケーションからスキャンする (Windows Vista/XP)

3 アプリケーションで [画像取り込み] を選択する

スキャナドライバの設定画面が表示されます。

☞スキャナドライバの設定

4 [プレビュー] ボタンをクリックする

原稿のイメージがプレビュー画面に表示されます。

※プレビュー画像が表示されないときは、本機が待受状態であることを確認してください。

プレビュー画像が正しい向きで表示されていないときや、斜めに表示されるときは、原稿を正しくセットしなおして、もう一度[プレビュー]ボタンをクリックしてください。

TWAIN 対応アプリケーションからスキャンする (part 2)

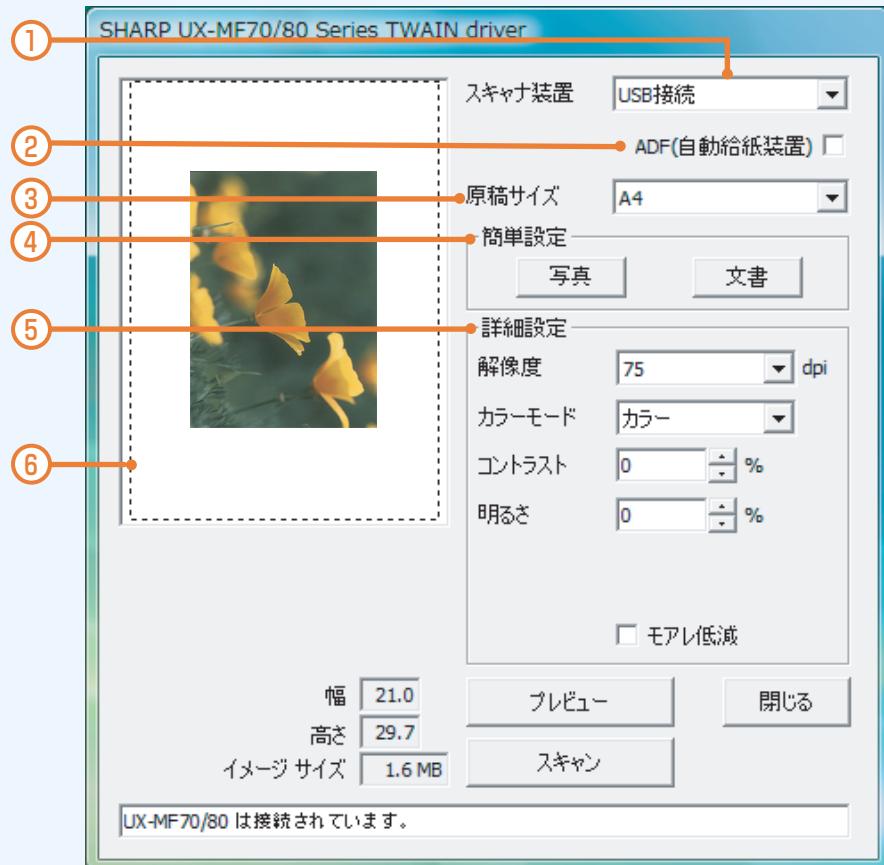
5 スキャン範囲を指定し、スキャン時の設定を行う

スキャン範囲の指定方法やスキャン時の設定については、「スキャナドライバの設定」をご覧ください。

ご注意

フルカラー、高解像度の設定で広範囲をスキャンすると、データ容量が大きくなり読み取り時間が長くなります。スキャン設定は、原稿の種類（テキスト、写真、モノクロなど）に合わせて設定することをお勧めします。

6 設定が完了したら、[スキャン]ボタンをクリックする

スキャンが始まり、お使いのアプリケーションに画像が取り込まれます。

アプリケーションでファイル名を付けて保存してください。

※スキャンが始まらないときは、本機が待受状態であることを確認してください。

メモ

[スキャン] ボタンをクリックしたあと、スキャン途中に中止する場合は、[中止] ボタンをクリックしてください。

TWAIN 対応アプリケーションからスキャンする (part 3)

スキャナドライバの設定

① スキャナ装置（USB 接続、LAN 接続の両方で接続しているときのみ）

本機とパソコンとの接続方法を USB 接続と LAN 接続から選択することができます。

② ADF（自動給紙装置）（UX-MF80 シリーズのみ）

ADF に原稿をセットするときは、チェックボックスにチェックしてください。

③ 原稿サイズ

スキャンする原稿のサイズを指定できます。指定した原稿サイズが読み取り範囲となります。

④ 簡単設定

原稿の種類に応じて読み取り設定を簡単に行うことができます。

- [写真] ボタン：写真などのカラー画像を含む原稿をスキャンするときにクリックします。
- [文書] ボタン：文字のみの原稿をスキャンするときにクリックします。

⑤ 詳細設定

「解像度」、「カラーモード」、「モアレ低減」を手動で設定でき、読み取り設定を詳細に行うことができます。
また、「カラーモード」で「モノクロ」を選択したときは「しきい値」を、「カラー」または「グレースケール」を選択したときは「コントラスト」と「明るさ」を設定できます。

⑥ プレビューウィンドウ

設定画面の [プレビュー] ボタンをクリックして読み取った画像が表示されます。ウィンドウ内をドラッグすると、スキャンする範囲を指定することができます。この場合、選択範囲に現れる破線の囲み内がスキャン範囲となります。選択範囲の外側をクリックすると、スキャン範囲の指定を解除することができます。

☞ スキャナドライバの設定（続き）

スキャナドライバの設定（続き）

⑦ [プレビュー] ボタン

原稿をプレビューします。

メモ　このボタンをクリックしたあと [中止] ボタンをクリックした場合、プレビュー画面には何も表示されません。

⑧ 幅・高さ・イメージサイズ

「幅」、「高さ」にはスキャン範囲のサイズが表示されます。（数値の単位は cm です。）イメージサイズには、現在の設定でスキャンした場合のおおよそのファイルサイズが表示されます。

⑨ [スキャン] ボタン

設定内容に従って原稿をスキャンします。[スキャン] ボタンをクリックする前に、スキャン設定が正しく行われているか確認してください。

メモ　[スキャン] ボタンをクリックしたあと、スキャンを途中で中止する場合は [中止] ボタンをクリックしてください。
または、本機側の ⬭（読込み中止）を押してください。

⑩ [閉じる] ボタン

スキャナドライバ設定画面を閉じるときにクリックします。

Windows フォトギャラリーからスキャンする (Windows Vista) (part 1)

1 原稿をセットする

☞原稿のセット方法

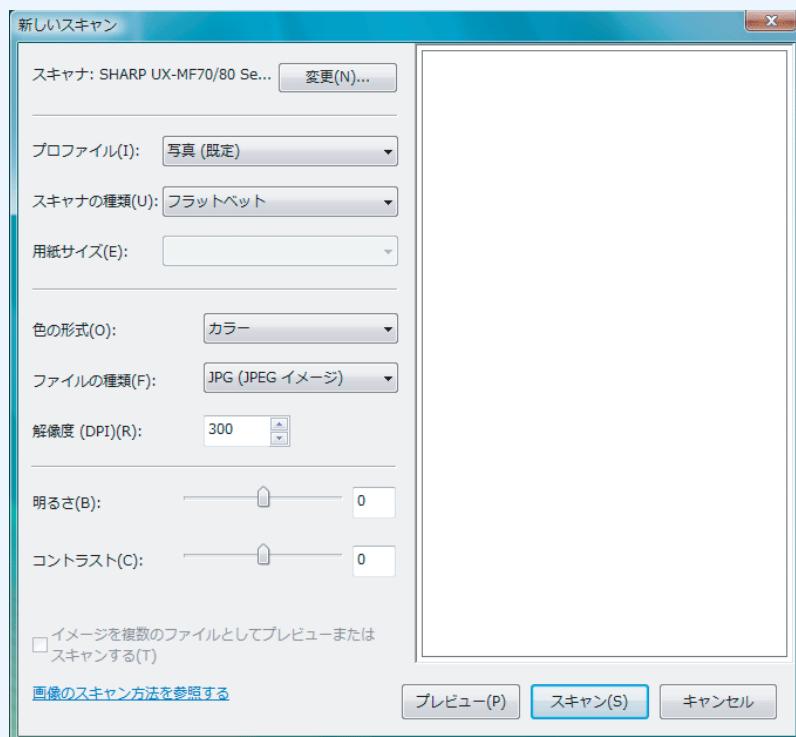
2 Windows フォトギャラリーを起動し、[ファイル] メニューから [カメラまたはスキャナからの読み込み] を選択する

3 WIA ドライバの選択画面が表示されるので、[SHARP UX-MF70/80 Series] を選択して [読み込み] ボタンをクリックする

4 「給紙方法」を選択する (UX-MF80 シリーズのみ)

原稿を原稿台にセットしているときは [フラットベット] を、ADF にセットしているときは [フィーダ (片面スキャン)] を選択してください。

☞Windows フォトギャラリーのスキャナ設定

Windows フォトギャラリーからスキャンする (Windows Vista) (part 2)

5 [プレビュー] ボタンをクリックする

プレビュー画像が表示されます。この手順は省略できます。プレビューを確認しないときは、手順 6 へ進んでください。

- 原稿台に原稿をセットした場合：
  破線の枠の、辺や角をドラッグし、スキャンする範囲を変更することもできます（破線は、一度プレビューを実行しないと表示されません）。

※プレビュー画像が表示されないときは、本機が待受状態であることを確認してください。

- ADF に原稿をセットした場合：
  プレビュー画像は 1 枚目のみ表示されます。
  スキャン範囲を指定することはできません。プレビュー画像を確認し、原稿をセットし直してください。

プレビュー画像が正しい向きで表示されないときや、ななめに表示されるときは、原稿をセットし直して、もう一度 [プレビュー] ボタンをクリックしてください。

6 プレビュー画面を確認し、スキャンの設定を行う

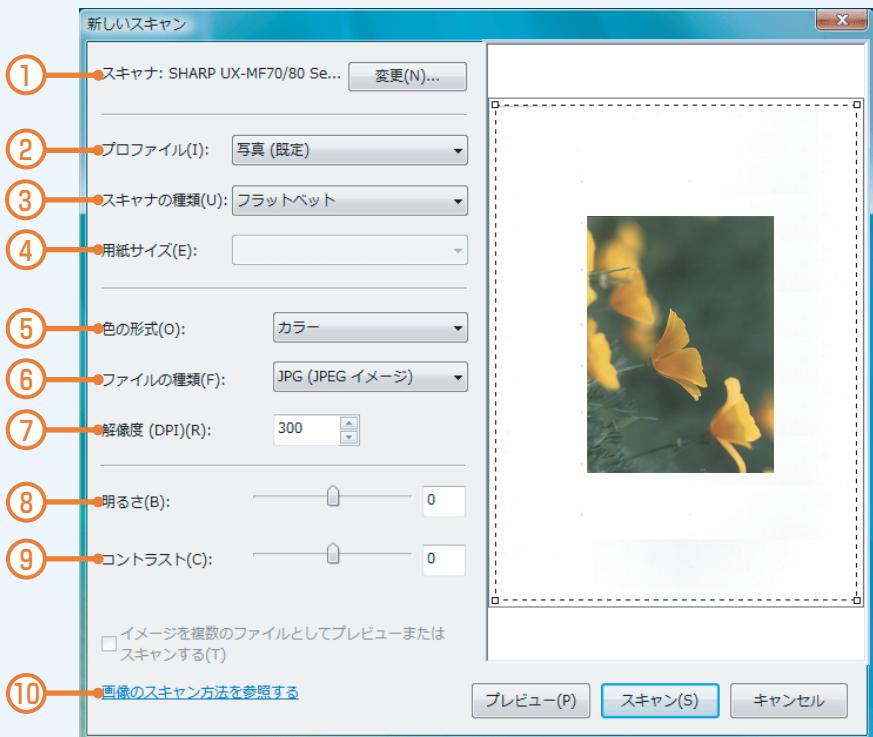
☞Windows フォトギャラリーのスキャナ設定

設定を変更しないときは、手順 7 へ進んでください。

7 [スキャン] ボタンをクリックする

Windows フォトギャラリーに画像が取り込まれます。取り込まれた画像には、「タグ名＋番号」のファイル名と、ファイルの種類に合わせた拡張子が自動的に付けられます。

[スキャン] ボタンをクリックしたあとにスキャンを中止する場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

※スキャンが実行されないときは、本機が待受状態であることを確認してください。

8 タグ名を付けて保存する（タグ名は省略できます）

この手順は省略できます。

Windows フォトギャラリーからスキャンする (Windows Vista)　(part 3)

Windows フォトギャラリーのスキャナ設定

① **スキャナ**
別の WIA ドライバを使用するときは、ここで変更します。

② **プロファイル**
スキャナ設定の組み合わせを変更することができます。初期状態で登録されているプロファイルから選択してください。新規に作成したプロファイルは、使用することができません。

③ **スキャナの種類**
原稿台に原稿をセットする場合は、「フラットベッド」を選択します。ADF に原稿をセットするときは、「フィーダ（片面スキャン）」を選択します（UX-MF80 シリーズのみ）。

④ **用紙サイズ**
③で「フィーダ（片面スキャン）」を選択した場合のみ、設定することができます。原稿の用紙サイズを選択してください（UX-MF80 シリーズのみ）。

⑤ **色の形式**
原稿に合わせて、カラー／グレースケール／白黒を選択します。

⑥ **ファイルの種類**
保存する画像の種類を、BMP/JPG/PNG/TIF から選択します。

⑦ **解像度**
解像度を選択します。

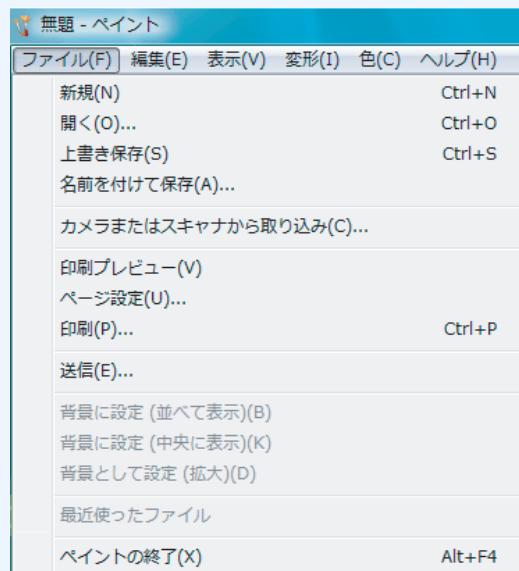
⑧ **明るさ**
明るさを設定します。

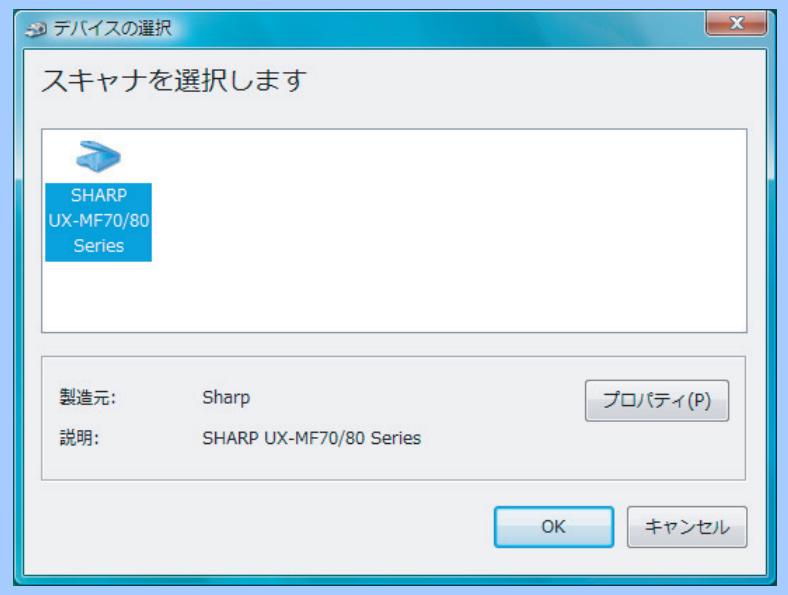
⑨ **コントラスト**
コントラストを設定します。

⑩ **画像のスキャン方法を参照する**
Windows フォトギャラリーで画像をスキャンする方法を、確認することができます。

ご注意　「イメージを複数のファイルとしてプレビューまたはスキャンする」は、本機ではご使用になれません。

WIA 対応アプリケーションからスキャンする (Windows Vista/XP) (part 1)

WIA ドライバを使用してペイントや他の WIA 対応アプリケーションからスキャンすることができます。ここでは、ペイントを使用してスキャンする方法を説明します。

1 原稿をセットする

☞原稿のセット方法

2 ペイントを起動し、[ファイル]メニューから[カメラまたはスキャナから取り込み]を選択する

WIA ドライバのスキャン画面が表示されます。

お使いのパソコンに他の機器の WIA ドライバがインストールされている場合は、[デバイスの選択] 画面が表示されます。[SHARP UX-MF70/80 Series] を選択して [OK] ボタンをクリックしてください。

3 画像の種類を選択し、[プレビュー] ボタンをクリックする

プレビュー画像が表示されます。この手順は省略できます。プレビューを確認しないときは、手順5へ進んでください。

- 原稿台に原稿をセットした場合：
  ウィンドウ内をドラッグすると、スキャンする範囲を指定することができます（破線の枠内がスキャンする範囲です）。あらかじめ表示されている破線の枠の、辺や角をドラッグし、スキャンする範囲を変更することもできます。

※プレビュー画像が表示されないときは、本機が待受状態であることを確認してください。

- ADF に原稿をセットした場合：
  プレビュー画像は 1 枚ずつ表示されます。
  スキャン範囲を指定することはできません。プレビュー画像を確認し、原稿をセットし直してください。

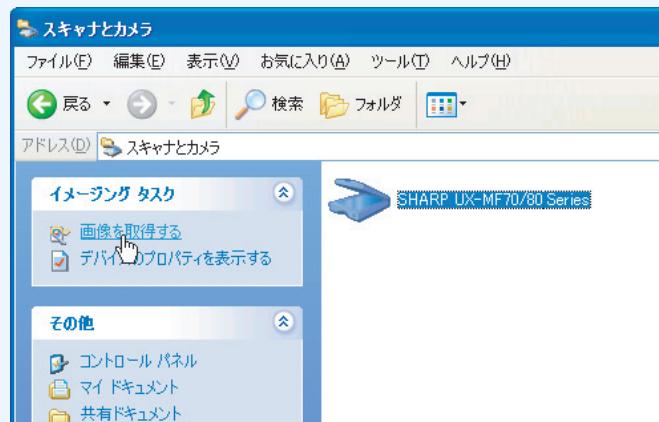
メモ
Windows XP をご利用のときは、ダイアログボックス右上の ボタンをクリックしたあと設定項目をクリックすると、その設定項目に対するヘルプをご覧になれます。
Windows Vista をご利用のときは、ヘルプは使用できません。

4 [スキャン] ボタンをクリックする

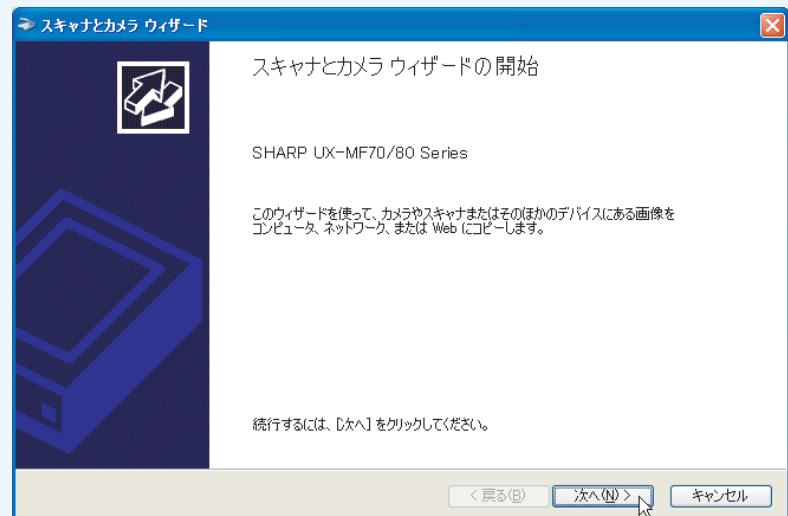
スキャンが実行され画像がペイントに取り込まれます。
[スキャン] ボタンをクリックしたあとにスキャンを中止する場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

※スキャンが実行されないときは、本機が待受状態であることを確認してください。

「スキャナとカメラウィザード」からスキャンする (Windows XP) (part 1)

ここでは、Windows XP の「スキャナとカメラウィザード」を使用したスキャン方法を説明します。「スキャナとカメラウィザード」を使用すれば、TWAIN や WIA に対応したアプリケーションを使用せずに画像をスキャンすることができます。

ご注意 Windows Vista では、「スキャナとカメラウィザード」のご使用はできません（動作サポート対象外です）。

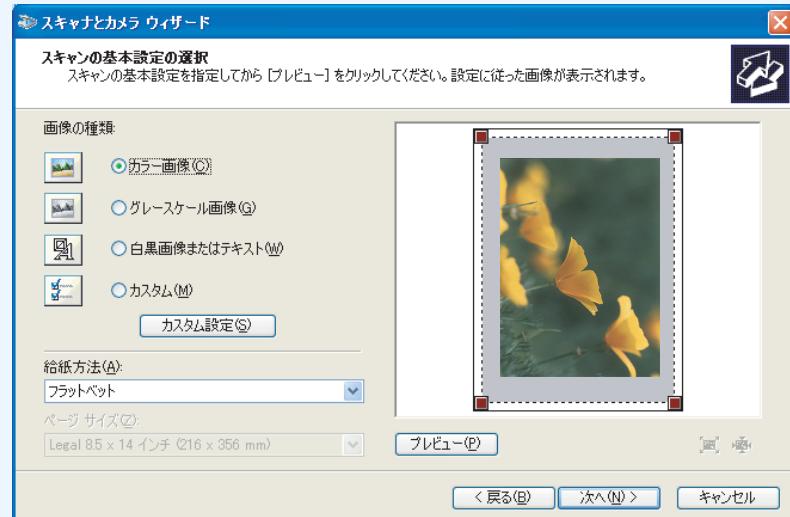
1 原稿をセットする

☞原稿のセット方法

2 [スタート]ボタンをクリックし、[コントロール パネル] → [プリンタとその他のハードウェア] → [スキャナとカメラ] をクリックする

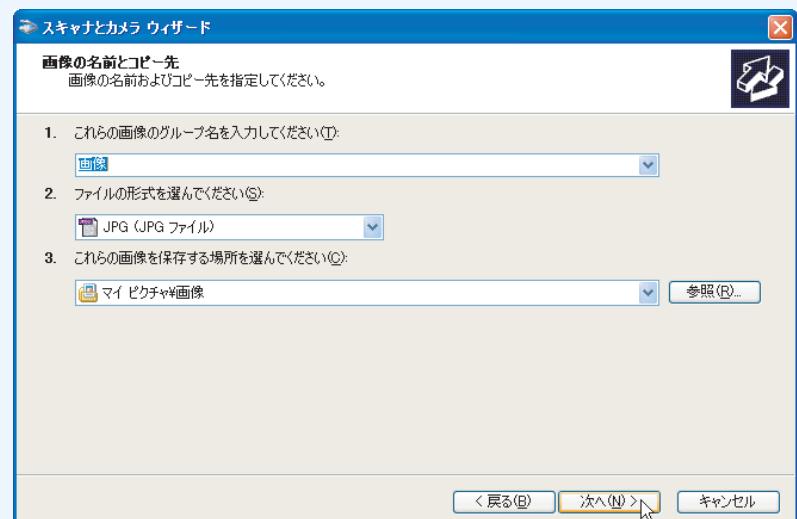
3 「SHARP UX-MF70/80 Series」アイコンをクリックし、[イメージング タスク] の [画像を取得する] をクリックする

「スキャナとカメラウィザード」が表示されます。

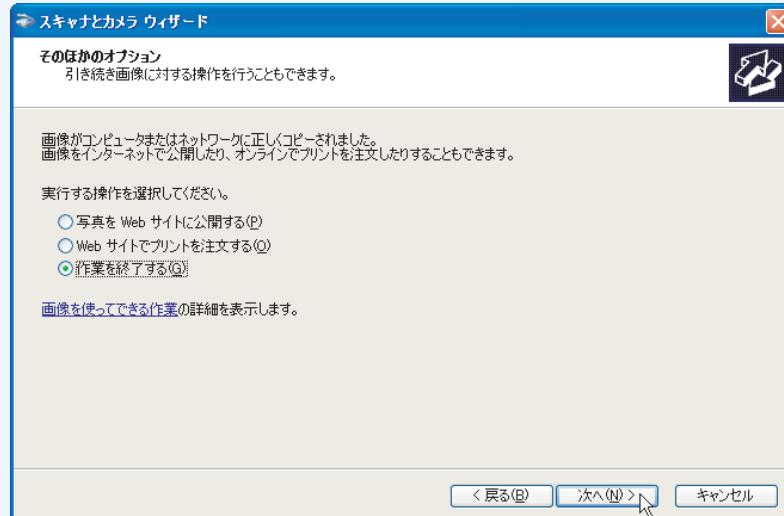
4 [次へ] ボタンをクリックする

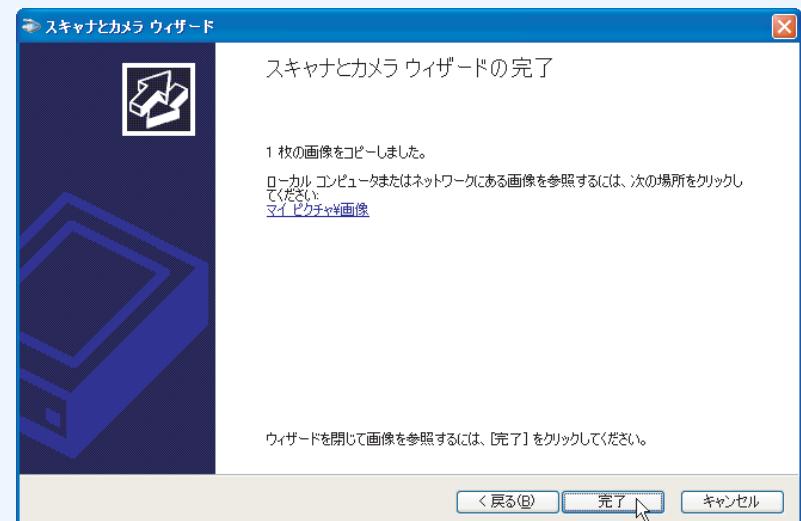
「スキャナとカメラウィザード」からスキャンする (Windows XP) (part 2)

5 「画像の種類」と「給紙方法」(UX-MF80 シリーズのみ) を選択し、[次へ] ボタンをクリックする

[プレビュー] ボタンをクリックすると、プレビュー画像を表示します。

- 原稿台に原稿をセットした場合：
  ウィンドウ内をドラッグすると、スキャンする範囲を指定することができます（破線の枠内がスキャンする範囲です)。あらかじめ表示されている破線の枠の、辺や角をドラッグし、スキャンする範囲を変更することもできます。
- ADF に原稿をセットした場合：
  スキャン範囲を指定することはできません。プレビュー画像を確認し、原稿をセットし直してください。

解像度、画像の種類、明るさ、コントラストの設定を変更するときは、[カスタム設定] ボタンをクリックします。

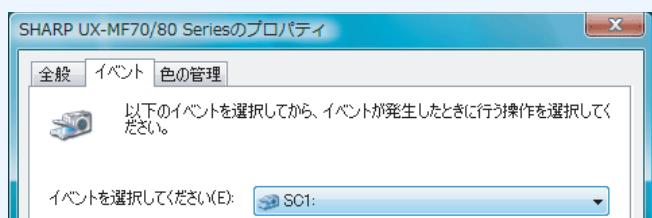
6 スキャンする画像のグループ名、保存形式、保存場所を指定し、[次へ] ボタンをクリックする

保存形式は、JPG、BMP、TIF、PNG から選択できます。[次へ] ボタンをクリックすると、スキャンを開始します。

「スキャナとカメラウィザード」からスキャンする (Windows XP) (part 3)

7 スキャンが完了すると以下の画面が表示されるので、次に行う操作を選択して ［ 次へ ］ ボタンをクリックする

作業を終了するときは、［ 作業を終了する ］ をクリックします。

8 ［ 完了 ］ ボタンをクリックする

「スキャナとカメラウィザード」が終了し、指定した場所にスキャンした画像が保存されます。

本機の操作でスキャンする

画像を取り込むアプリケーション（TWAIN 対応）をスキャナのプロパティで設定することにより、本機の操作でお使いのパソコンに画像を取り込むことができます。スキャナドライバをインストールしたあと次の設定を行ってください。スキャンのしかたについては、取扱説明書の「スキャン」の項の「読み取ったデータをパソコンに送る (USB 接続時)」をご覧ください。
LAN 接続時は、取扱説明書の「スキャン」の項の「読み取ったデータをパソコンに送る (LAN 接続時)」をご覧ください。

1 **[スタート] ボタン（ ）をクリックし、[コントロール パネル] → [ハードウェアとサウンド] → [スキャナとカメラ] をクリックする**

2 **「SHARP UX-MF70/80 Series」アイコンをクリックし、[プロパティ] ボタンをクリックする**

3 **プロパティ画面の [イベント] タブをクリックする**

4 **「イベントを選択してください」のドロップダウンリストから [SC1] を選択する**

5 **[指定したプログラムを起動する] を選択し、メニューから TWAIN に対応したアプリケーションを選択する**

メモ
- 付属のアプリケーション「Sharp Button Manager R（ボタンマネージャ）」を選択すると、ボタンを 1 回押すだけで画像を取り込むことができます。
- 「スキャナとカメラウィザード」を選択した場合は、本機の操作をしたあとで、パソコンからスキャンを実行してください。

6 **[適用] ボタンをクリックする**

Windows Vista をご利用のときは、この操作は必要ありません。そのまま手順 7 へお進みください。

7 **手順4～6を繰り返し、[SC2] から [SC6] で使用するアプリケーションを指定する**

設定が完了したら [OK] ボタンをクリックして画面を閉じてください。

ボタンマネージャについて

ボタンマネージャは、本機でスキャンした画像を、パソコンのアプリケーションへ中継するユーティリティソフトです。USB 接続でドライバをインストールしたときのみお使いになれます。LAN 接続のときはお使いになれません。
ボタンマネージャを使用すると、本機の「スキャン」メニューの「ローカル PC へ送る」で表示される、「SC1」～「SC6」の6項目に、スキャンした画像を送るアプリケーションを割り当てることができます。ここではその設定方法を説明します。
ボタンマネージャは、ドライバとは別にインストールが必要です。付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、「ユーティリティソフト」→「ボタンマネージャ」とクリックしたあと、画面の指示に従ってインストールしてください。

ボタンマネージャでは、「SC1」～「SC6」の6項目に、スキャンした画像を送るアプリケーションを割り当てられます。初期設定では、各項目に下記のアプリケーションが割り当てられています。割り当てるアプリケーションは6種類の中から選べます。
割り当てた項目に対応するアプリケーションがない場合は利用できません。

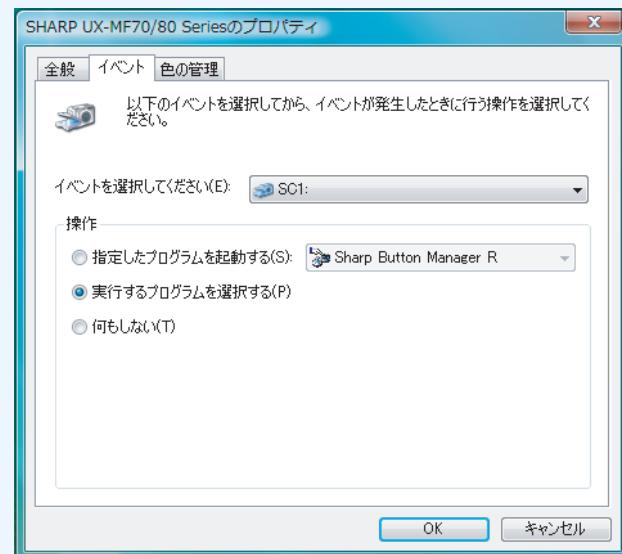
項目名	アプリケーション	動作の内容
SC1	Sharpdesk	デスクトップ文書管理ユーティリティ「Sharpdesk」にスキャンした画像を送ります。Sharpdesk のインストール方法および使いかたについては、付属の CD-ROM 内の「電子マニュアル」→「SHARPDESK マニュアル」をご覧ください。
SC2	E-mail	電子メールソフトにスキャンした画像を送ります。MAPI 対応の電子メールソフトは別途ご用意ください。
SC3	FAX	PC-FAX ソフトにスキャンした画像を送ります。PC-FAX ソフトは付属の PC-FAX ユーティリティをお使いいただくか、別途ご用意ください。
SC4	OCR	OCR ソフトにスキャンした画像を送ります。OCR ソフトは別途ご用意ください。
SC5	Microsoft Word	Microsoft Word にスキャンした画像を送ります。Microsoft Word は別途ご用意ください。
SC6	Filing	スキャンした画像を指定の場所に保存します。

2 ボタンマネージャの起動設定をする (part 1)

ボタンマネージャを使うには、本機でスキャンの操作がされたときに、パソコンでボタンマネージャが起動するように設定しておく必要があります。

ボタンマネージャの起動設定をする (Windows Vista の場合)

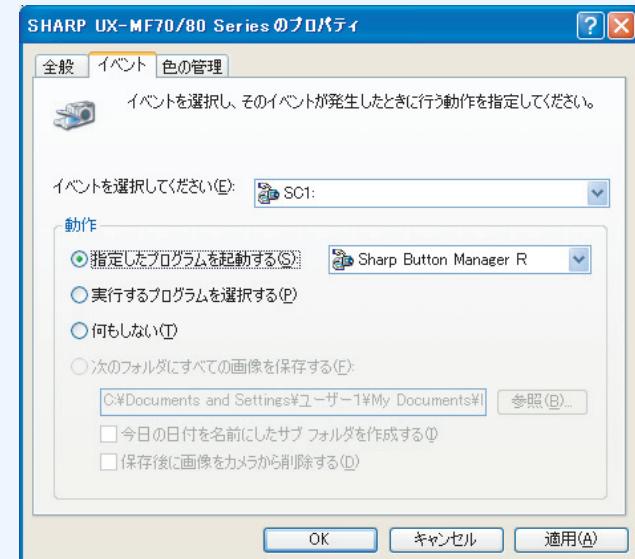
Windows Vista をお使いの方は、下記の操作で設定してください。

1 [スタート] ボタン ( ) をクリックし、[コントロールパネル] → [ハードウェアとサウンド] をクリックする

2 [スキャナとカメラ] をクリックする

3 [SHARP UX-MF70/80 Series] スキャナドライバアイコンをクリックし、[プロパティ] ボタンをクリックする

4 [イベント] タブをクリックし、「イベントを選択してください」のメニューで [SC1] 〜 [SC6] のいずれかを選択する

5 「指定したプログラムを起動する」にチェックし、右側のボックスで「Sharp Button Manager R」を選択する

6 4〜5の操作をくり返して、[SC1] 〜 [SC6] のすべてに「Sharp Button Manager R」を設定する

7 [OK] ボタンをクリックする

ボタンマネージャの起動設定をする（Windows XP の場合）

Windows XP をお使いの方は、下記の操作で設定してください。

1 [スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]→[プリンタとその他のハードウェア]をクリックする

2 [スキャナとカメラ] をクリックする

3 [SHARP UX-MF70/80 Series] スキャナドライバアイコンをクリックし、[ファイル] メニューから [プロパティ] を選択する

4 [イベント] タブをクリックし、「イベントを選択してください」のメニューで [SC1] ～ [SC6] のいずれかを選択する

5 「指定したプログラムを起動する」にチェックし、右側のボックスで「Sharp Button Manager R」を選択する

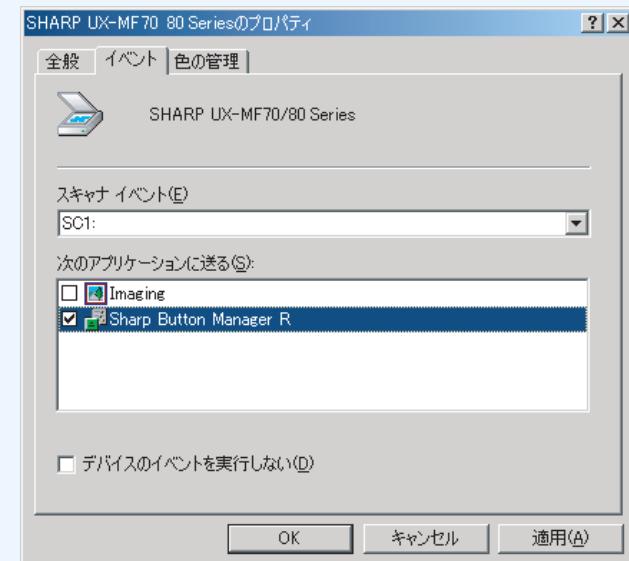
6 4～5の操作をくり返して、[SC1] ～ [SC6] のすべてに「Sharp Button Manager R」を設定する

7 [OK] ボタンをクリックする

ボタンマネージャの起動設定をする (part 3)

ボタンマネージャの起動設定をする (Windows 2000 の場合)

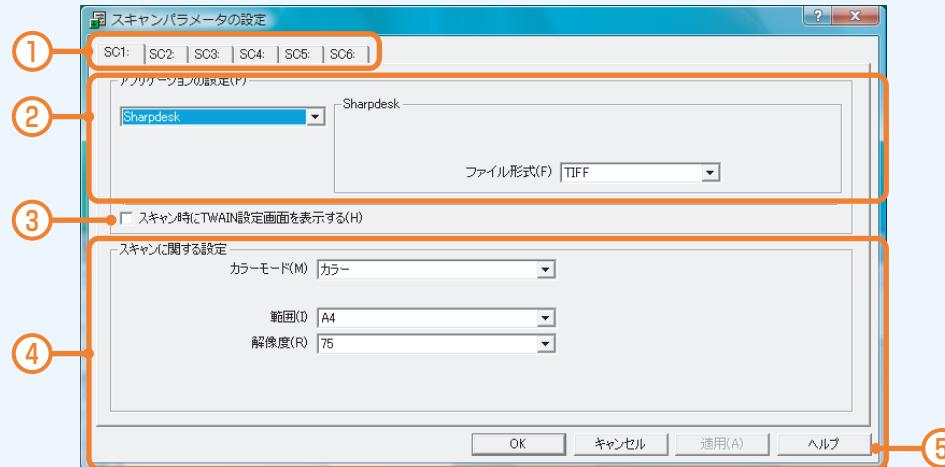
Windows 2000 をお使いの方は、下記の操作で設定してください(画面は Windows 2000 のものです)。

1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] → [コントロールパネル] と選択する

2 [スキャナとカメラ] をダブルクリックする

3 [SHARP UX-MF70/80 Series] スキャナドライバアイコンをクリックし、[プロパティ] ボタンをクリックする

4 [イベント] タブをクリックし、「スキャナイベント」欄から [SC1] ～ [SC6] のいずれかを選択する

5 「次のアプリケーションに送る」欄で「Sharp Button Manager R」にのみチェックする

6 4～5の操作をくり返して、[SC1] ～ [SC6] のすべてに「Sharp Button Manager R」を設定する

7 [OK] ボタンをクリックする

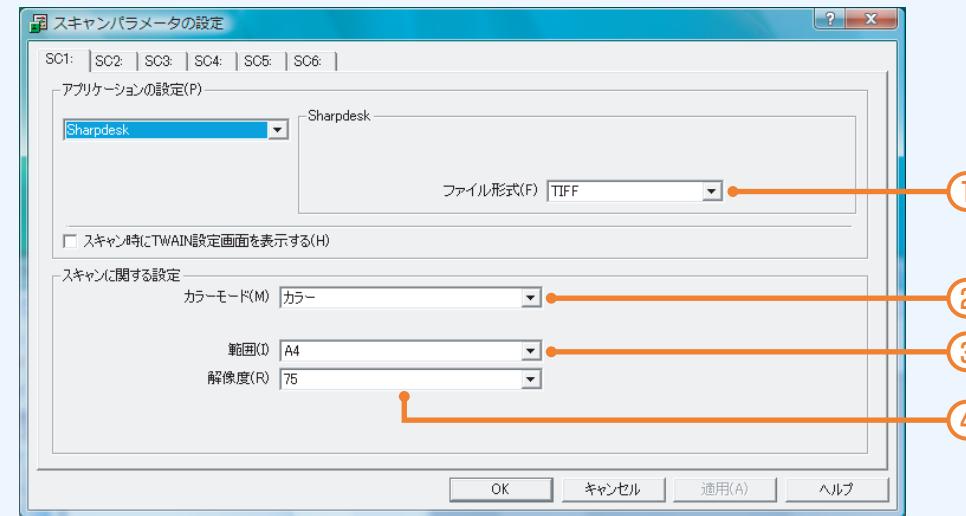
Windows 2000 をお使いの場合は、設定完了後、パソコンを再起動してください。

ボタンマネージャの詳細設定をする (part 1)

[SC1] ～ [SC6] の項目に割り当てる各アプリケーションに対して、ファイル形式やカラーモードなどの設定ができます。
ボタンマネージャを起動すると、タスクバーにボタンマネージャアイコン（ ）が表示されます。そのアイコンを右クリックし、「設定」をクリックすると、設定画面が表示されます。

① **タブ**
各タブが、本機の「スキャン」メニューの「ローカル PC へ送る」で表示される項目に対応しています。タブを選んだあと、割り当てるアプリケーションなどの設定をします。

② **アプリケーション設定**
タブに割り当てるアプリケーションを選択できます。右側に表示される内容は、アプリケーションによって変わります。
☞「Sharpdesk」の設定ページについて
☞「E-mail」の設定ページについて
☞「FAX」の設定ページについて
☞「OCR」の設定ページについて
☞「Microsoft Word」の設定ページについて
☞「Filing」の設定ページについて

③ **スキャン時に TWAIN 設定画面を表示する**
ここにチェックすると、スキャン時に TWAIN 設定画面が表示され、スキャン設定を変更することができます。

④ **[スキャンに関する設定] エリア**
読み取りに関する設定ができます。

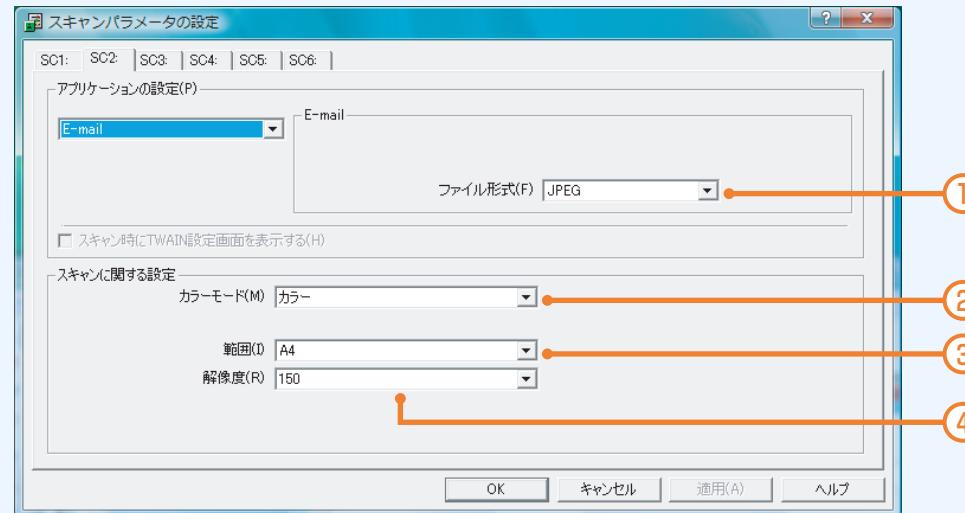
⑤ **[ヘルプ] ボタン**
クリックすると、ボタンマネージャのヘルプが表示されます。各項目のくわしい内容などはこちらをご覧ください。

ボタンマネージャの詳細設定をする (part 2)

「Sharpdesk」の設定ページについて

① **ファイル形式**
スキャンする画像のファイル形式を選択できます。「BMP」「TIFF」「JPEG」「TIFF（マルチページ）」の中から選択してください。

② **カラーモード**
スキャンする画像のカラーモードを選択できます。「モノクロ」「グレースケール」「カラー」の中から選択してください。

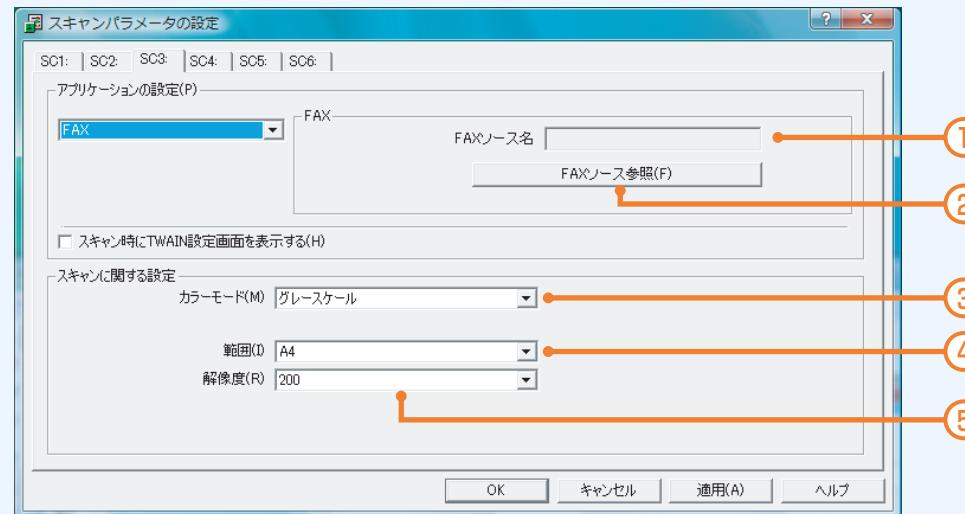
③ **範囲**
スキャンする画像のサイズを選択できます。「A4」「B5」「レター」の中から選択してください。

④ **解像度**
スキャンする画像の解像度を選択できます。「75」「100」「150」「200」「300」「600」の中から選択してください。

ボタンマネージャの詳細設定をする (part 3)

「E-mail」の設定ページについて

① **ファイル形式**
スキャンする画像のファイル形式を選択できます。「BMP」「TIFF」「JPEG」「TIFF（マルチページ）」の中から選択してください。

② **カラーモード**
スキャンする画像のカラーモードを選択できます。「モノクロ」「グレースケール」「カラー」の中から選択してください。ファイル形式が「JPEG」のときは、「モノクロ」を選択することはできません。

③ **範囲**
スキャンする画像のサイズを選択できます。「A4」「B5」「レター」の中から選択してください。

④ **解像度**
スキャンする画像の解像度を選択できます。「75」「100」「150」「200」「300」「600」の中から選択してください。

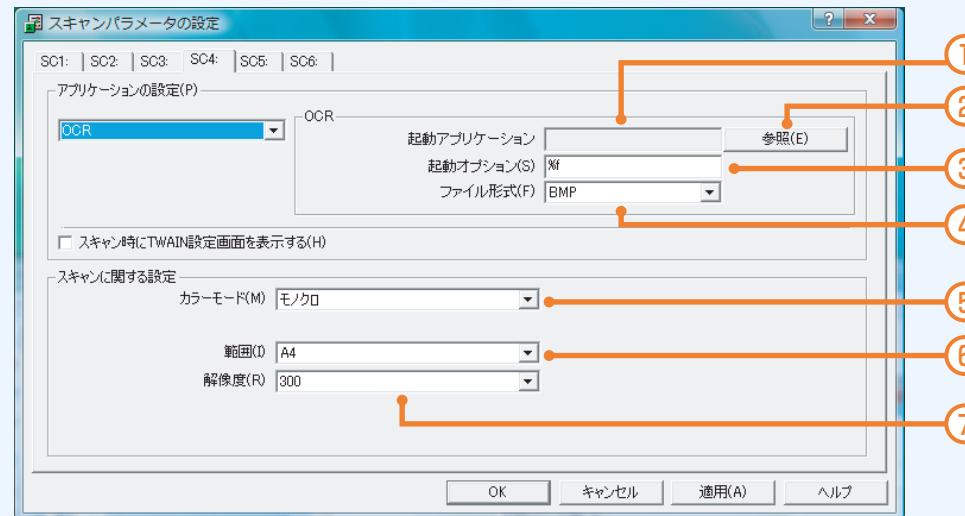
ボタンマネージャの詳細設定をする (part 4)

「FAX」の設定ページについて

① **FAX ソース名**
[FAX ソース参照] ボタン（②）をクリックして選択したFAX ソース名が表示されます。

② **[FAX ソース参照] ボタン**
クリックすると、お使いのパソコンにインストールされているプリンタ／ファクスドライバの一覧が表示されます。一覧からファクスドライバとして使用するものを選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。

③ **カラーモード**
スキャンする画像のカラーモードを選択できます。「モノクロ」「グレースケール」「カラー」の中から選択してください。

④ **範囲**
スキャンする画像のサイズを選択できます。「A4」「B5」「レター」の中から選択してください。

⑤ **解像度**
スキャンする画像の解像度を選択できます。「75」「100」「150」「200」「300」の中から選択してください。

ボタンマネージャの詳細設定をする (part 5)

「OCR」の設定ページについて

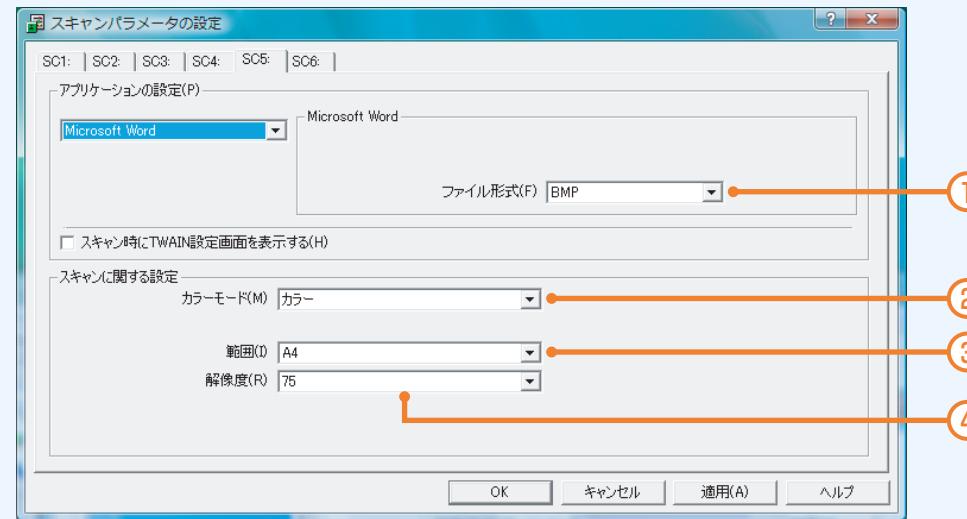
① **起動アプリケーション**
[参照] ボタン(②)をクリックして選択したアプリケーション名が表示されます。

② **[参照] ボタン**
クリックすると、お使いのパソコンにインストールされているアプリケーションの一覧が表示されます。OCR ソフトを選択して [OK] ボタンをクリックしてください。

③ **起動オプション**
選択したアプリケーションによって自動的に変わります。任意に変更はできません。

④ **ファイル形式**
スキャンする画像のファイル形式を選択できます。「BMP」「TIFF」「TIFF (マルチページ)」の中から選択してください。

⑤ **カラーモード**
スキャンする画像のカラーモードです。「モノクロ」に固定されています。

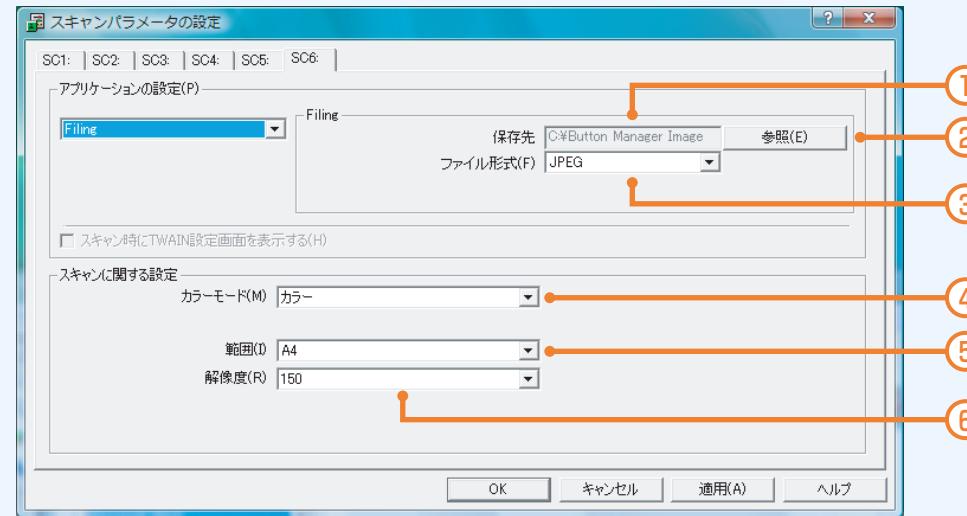
⑥ **範囲**
スキャンする画像のサイズを選択できます。「A4」「B5」「レター」の中から選択してください。

⑦ **解像度**
スキャンする画像の解像度を選択できます。「75」「100」「150」「200」「300」「600」の中から選択してください。

ボタンマネージャの詳細設定をする (part 6)

「Microsoft Word」の設定ページについて

① **ファイル形式**
スキャンする画像のファイル形式を選択できます。「BMP」「TIFF」「TIFF(マルチページ)」の中から選択してください。

② **カラーモード**
スキャンする画像のカラーモードを選択できます。「モノクロ」「グレースケール」「カラー」の中から選択してください。

③ **範囲**
スキャンする画像のサイズを選択できます。「A4」「B5」「レター」の中から選択してください。

④ **解像度**
スキャンする画像の解像度を選択できます。「75」「100」「150」「200」「300」「600」の中から選択してください。

ボタンマネージャの詳細設定をする (part 7)

「Filing」の設定ページについて

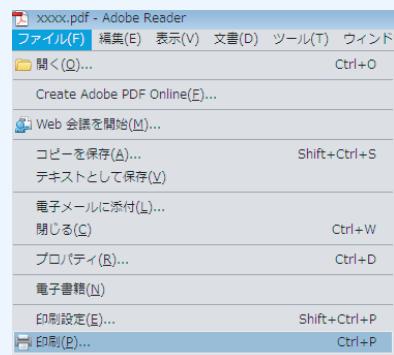
① **保存先**
[参照] ボタン（②）をクリックして選択した保存先が表示されます。

② **[参照] ボタン**
クリックすると、保存先を選択する画面になります。保存先のフォルダを選択して [OK] ボタンをクリックしてください。

③ **ファイル形式**
スキャンする画像のファイル形式を選択できます。「BMP」「TIFF」「JPEG」「TIFF（マルチページ）」の中から選択してください。

④ **カラーモード**
スキャンする画像のカラーモードを選択できます。「モノクロ」「グレースケール」「カラー」の中から選択してください。ファイル形式が「JPEG」のときは、「モノクロ」を選択することはできません。

⑤ **範囲**
スキャンする画像のサイズを選択できます。「A4」「B5」「レター」の中から選択してください。

⑥ **解像度**
スキャンする画像の解像度を選択できます。「75」「100」「150」「200」「300」「600」の中から選択してください。

本機を使ってパソコンからFAXを送る（PC-FAX）(part 1)

PC-FAXとは、データを印刷せずに、直接パソコンからファクス送信することができる機能です（ただしデータは本体を経由します）。この機能をお使いになるには、ドライバとは別にインストールが必要です。LAN 接続用ドライバをインストールしてから、付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットし、「ユーティリティソフト」→「PC-FAX」とクリックしたあと、画面の指示に従ってインストールしてください。
USB接続では、PC-FAXを利用することはできません。

PC-FAXを送信する

1 送信したいファイルを開き、「ファイル」メニューから「印刷」を選択する

2 「プリンタ名」のドロップダウンリストから、[SHARP MIRAKURU PC-FAX] を選択する

3 [OK] ボタンをクリックする

クリックすると、PC-FAX 送信用のファイルが生成されます。
ファイルの生成が完了したあと、相手先指定画面が表示されます。

☞PC-FAXを送信する（続き）

PC-FAX を送信する（続き）

4 相手先番号を入力する

・電話番号を直接入力する

ナンバーキーをクリックして、電話番号を入力してください。

クリア を押すと最後に入力した数字が 1 つ消去されます。間違えて入力したときは、間違えた数字を消去したあと、あらためて入力し直してください。

入力が終わったら [送信先に追加] ボタンを押してください。

送信先一覧に追加されます。

複数の方にファクスを送信するときは、続けて番号を入力してください（最大 30 件）。

・電話帳から相手の方を選ぶ

本機に登録されている電話帳から、相手の方を選ぶことができます。電話帳 を押してください。

送信したい相手の方を選びチェックボックスにチェックを入れます（複数選択可、最大 30 件）。

上記の「記」～「わ」のいずれかのボタンを押すと、その文字の行の先頭（「あ」なら「あ行」の先頭、「記」なら「記号」の先頭など）へジャンプします。

☞PC-FAX を送信する（続き）

PC-FAXを送信する（続き）

選択が終わったら、[決定] ボタンを押してください。
送信先一覧に追加されます。

相手先番号を入力したあと、電話帳から相手先を選択すると、番号が連続して入力されます（複数の相手先を選択したときは、無効になります）。
（例）相手先番号に「184」を入力し、電話帳から「0387654321」を選んだ場合は、「1840387654321」と入力されます。

5 送信先一覧を確認し、番号に間違いがないか確認する

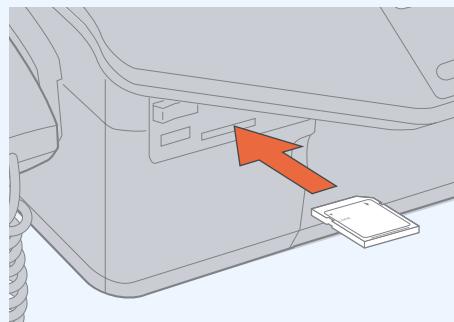
間違えて入力しているときは、番号をクリックして選択し、[削除] ボタンで削除してください。その後、あらためて入力し直してください。

6 スタート を押す

ファクスが送信されます。

写真などの画像データを送信した場合はデータのサイズが大きくなるため、相手先の受信環境によっては送信できないことがあります。

メモリーカード内の画像をパソコンで確認して印刷する（電子ファイル）(part 1)

本機のメモリカードスロットにセットしたメモリーカード内の画像ファイルを、パソコンから確認して印刷することができます（電子ファイル）。
この機能は、LAN 接続でのみご利用いただけます。USB 接続ではご利用いただけません。

本機では、SD メモリーカード、マルチメディアカード、USB メモリーなどが使用できます。使用できるメモリーカードの詳細については、取扱説明書の「推奨メモリーデバイスについて」をご覧ください。

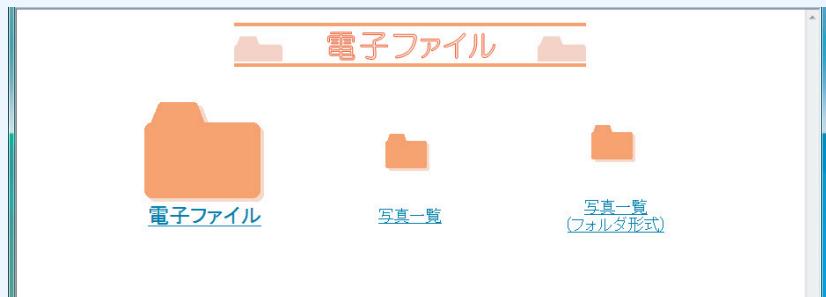
デジタルカメラなど他の機器と共有して使用するメモリーカードは、必ず使用する機器でフォーマットしてください。

電子ファイルを使用する

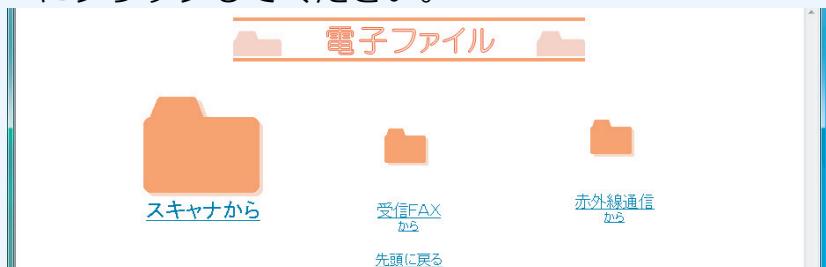
1 メモリーカードを本機のメモリカードスロットに挿入する

メモリーカードの挿入方法については、付属の取扱説明書の「フォトプリント」の項の「メモリーカードを取り付ける」をご覧ください。

2 パソコンのデスクトップにある をダブルクリックする

メモ
- 接続方法に合わせて、本機の「外部メモリーアクセス設定」を「ネットワーク接続 PC のみ許可」に設定する必要があります。
くわしくは、付属の取扱説明書をご覧ください。
- Windows 2000 SP4 以上 /XP/Vista でのみ使用できます。
- 本機の「ネットワークアクセス制限」の設定によっては、メモリーカードの内容を表示できないことがあります。くわしくは付属の取扱説明書をご覧ください。

☞ 電子ファイルを使用する（続き）

メモリーカード内の画像をパソコンで確認して印刷する（電子ファイル）(part 2)

電子ファイルを使用する（続き）

3 ブラウザが起動し、以下の画面が表示されるので、画像を確認する

・**「電子ファイル」フォルダ**

本機の電子ファイル機能で保存した画像を見るときにクリックしてください。

確認したい画像のあるフォルダをクリックします。

「スキャナから」　：スキャンした画像
「受信 FAX から」：受信したファクスの画像
「赤外線通信から」：赤外線通信で保存した画像

それぞれの画像が一覧で表示されます。

・**「写真一覧」フォルダ**

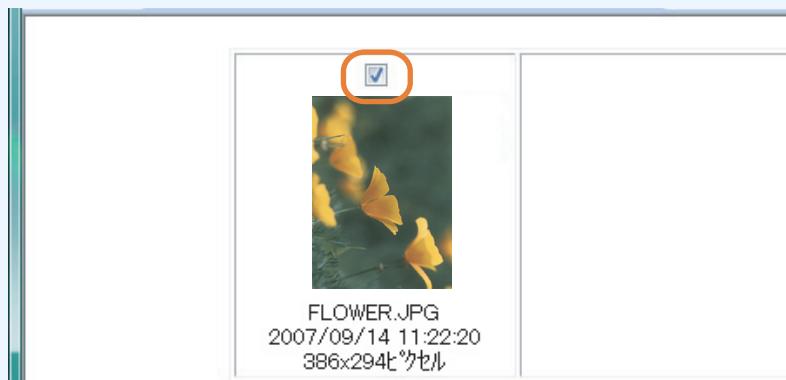
メモリーカード内に保存されている画像が、まとめて一覧で表示されます。
「電子ファイル」フォルダの画像は表示されません。

・**「写真一覧（フォルダ形式）」フォルダ**

メモリーカード内の画像とフォルダが一覧で表示されます。フォルダ内にある画像のみ表示されますので、表示したい画像のあるフォルダを選択してください。
「電子ファイル」フォルダの画像は表示されません。

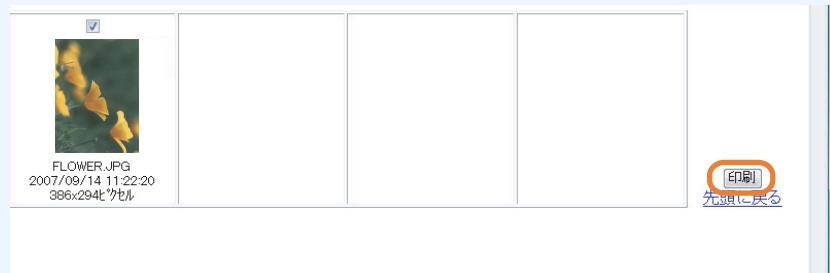
ご注意

- 本機で表示される画像は以下の通りです。
  形式　：JPEG（※）
  サイズ：横長画像　最大 4,096 × 3,072 ドット
  　　　　　　　　　最小 32 × 32 ドット
  　　　　縦長画像　最大 3,072 × 4,096 ドット
  　　　　　　　　　最小 32 × 32 ドット
  ファイルサイズ：最大 6MB
  ※ DCF 規格外のものは、正しく表示または印刷されない場合があります。
- メモリーカード内に JPEG ファイルがない場合は、エラーが表示されます。

☞ 電子ファイルを使用する（続き）

メモリーカード内の画像をパソコンで確認して印刷する（電子ファイル）(part 3)

電子ファイルを使用する（続き）

4 一覧表示から、印刷したい画像を選ぶ

印刷したい画像のチェックボックスをクリックしてチェックしてください。複数の画像をチェックして、まとめて印刷することもできます。

この機能を使って印刷するときは、以下の印刷設定に従います。

- 「電子ファイル」フォルダ内にある「スキャナから」、「受信 FAX から」、「赤外線通信から」の各フォルダの画像は、本機の電子ファイル機能の「ファイルを見る」の「スキャナから」、「受信 FAX から」、「赤外線通信から」の、それぞれの印刷設定に従って印刷されます。
- 「写真一覧」フォルダまたは「写真一覧（フォルダ形式）」フォルダの画像は、本機の「かんたんフォトプリント」の印刷設定に従って印刷されます。

くわしくは付属の取扱説明書をご覧ください。

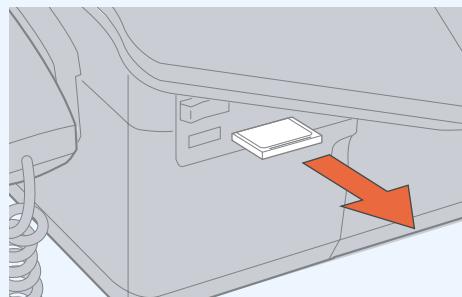
5 [印刷] ボタンを押す

選択した画像が印刷されます。

一覧表示画面で、写真（サムネイル）をクリックすると、拡大して表示されます。そのときに [印刷] ボタンを押すと、表示中の画像のみ印刷することができます。

6 印刷が終わったら、本体からメモリーカードを取り出す

☞パソコンで使用したメモリーカードを取り出す

パソコンで使用したメモリーカードを取り出す

1 **メモリーカードの内容を表示しているウィンドウをすべて閉じる**

2 **本機のカードアイコンで、メモリカードにアクセスしていないことを確認し、メモリーカードを本機から取り外す**

[カードアイコンの表示例（UX-MF70/80 シリーズの場合]
アクセスしている：SD／アクセスしていない：SD

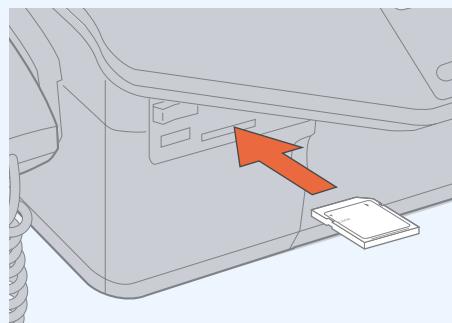
メモリーカードの取り外しかたについては、取扱説明書の「フォトプリント」の項の「メモリーカードを取り外す」をご覧ください。

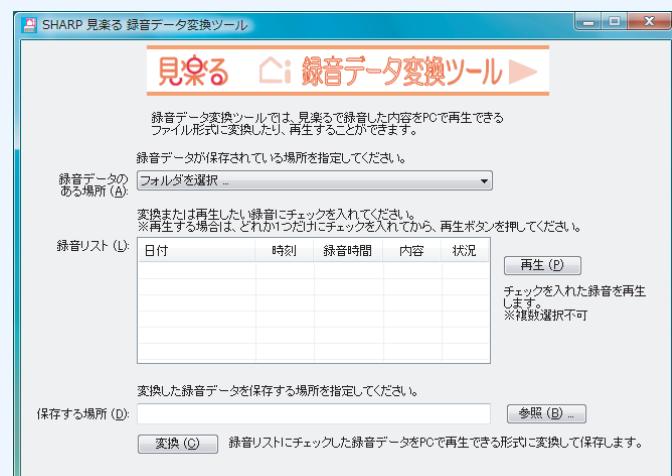
ご注意 本機の液晶画面に、外部メモリーを抜かないようにお知らせするメッセージを表示しているとき、またはアクセス中の表示（上記参照）が出ているときは、メモリーカードを取り出さないでください。ファイルが開けなくなったり、メモリーカードが破損するおそれがあります。

本機で録音した音声データをパソコンで聞く（録音データ変換ツール）（part 1）

本機に録音された音声データ（留守番電話、音声メモ、通話録音など）をメモリーカードに保存して、パソコンで聞いたり、パソコンで再生できる音声方式（WAVE ファイル）に変換したりすることができます。
この機能をお使いになるときは、ドライバとは別にインストールが必要です。USB または LAN 接続用のドライバをインストールしてから、付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットし、「ユーティリティソフト」→「録音データ変換ツール」とクリックしたあと、画面の指示に従ってインストールしてください。

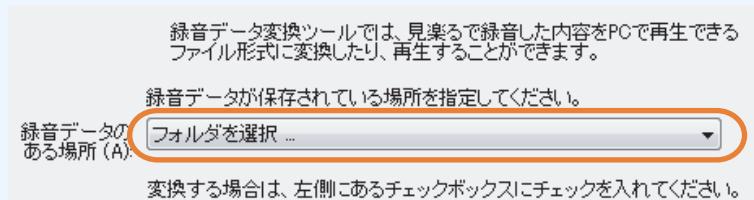
デジタルカメラなど他の機器と共有して使用するメモリーカードは、必ず使用する機器でフォーマットしてください。

録音データ変換ツールを使用する

1 メモリーカードを本機のメモリカードスロットに挿入する

USB 接続の場合は、SD メモリーカードまたはマルチメディアカードをご使用ください。
LAN 接続の場合は、USB メモリーも使用することができます。
メモリーカードの挿入方法については、付属の取扱説明書の「フォトプリント」の項の「メモリーカードを取り付ける」をご覧ください。

2 パソコンのデスクトップにある をダブルクリックする

ダブルクリックすると、録音データ変換ツールが起動し、以下の画面が表示されます。

☞ 録音データ変換ツールを使用する（続き）

本機で録音した音声データをパソコンで聞く（録音データ変換ツール）（part 2）

録音データ変換ツールを使用する（続き）

- 接続方法に合わせて、本機の「外部メモリーアクセス設定」を切り替えてください。
  くわしくは、付属の取扱説明書をご覧ください。
- Windows 2000 SP4以上/XP/Vistaでのみ使用できます。
- 本機の「ネットワークアクセス制限」の設定によっては、メモリーカードの内容を表示できないことがあります。くわしくは付属の取扱説明書をご覧ください。

3 「録音データのある場所」の項目を確認する

録音データ変換ツールでは、見楽るで録音した内容をPCで再生できるファイル形式に変換したり、再生することができます。

録音データが保存されている場所を指定してください。

録音データのある場所（A）: フォルダを選択 ...

変換する場合は、左側にあるチェックボックスにチェックを入れてください。

USB接続で、本機にSDカードまたはマルチメディアカードが挿入されているとき、またはLAN接続で、本機にUSBメモリーが挿入されているとき、メモリーカードをパソコンに直接取り付けてご使用のときは、自動的にメモリーカードが選択されます（「リムーバブルディスク」または「LAN接続されたUX-MF70/80の外部メモリ」と表示されます）。

自動的に選択されていないときは、「フォルダを選択 ...」と表示されますので、コンボボックスの「フォルダを選択 ...」を選び、メモリーカードのフォルダを選択してください。

4 録音リストに、メモリーカードに保存した録音データが表示されていることを確認する

録音データの情報は、以下のように表示されています。

日付　　　：音声データが録音された日付
時刻　　　：音声データが録音された時刻
録音時間　：音声データの録音時間
（再生するアプリケーションによっては、再生時間が異なる場合があります）
内容　　　：音声データの種類
「用件」：留守番電話
「通話」：今から録音、戻って録音
「メモ」：メモ録音
状況　　　：音声データの再生状況
「済」：本機で再生済み
「未」：本機で未再生

メモ
「状況」の項目は、パソコンで録音データを再生しても、「済」と表示されません。

☞ 録音データ変換ツールを使用する（続き）

本機で録音した音声データをパソコンで聞く（録音データ変換ツール）（part 3）

録音データ変換ツールを使用する（続き）

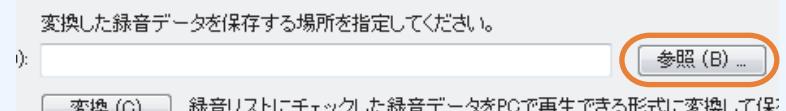
5 録音データを再生するときは、再生したい音声データのチェックボックスをチェックして［再生］ボタンを押す

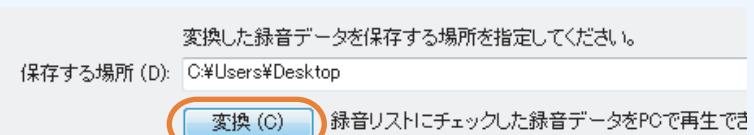
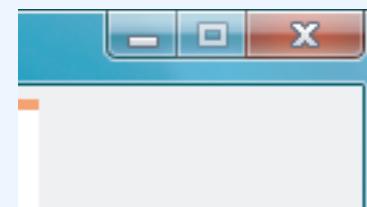
変換または再生したい録音にチェックを入れてください。
※再生する場合は、どれか1つだけにチェックを入れてから、再生ボタンを押してください。

	日付	時刻	録音時間	内容	状況
□	2007年 9月14日	07:36:00	13"	用件	済
☑	2007年 9月14日	07:31:00	15"	用件	済
□	2007年 9月13日	13:06:00	10"	メモ	済

再生（P）

チェックを入れた
します。
※複数選択不可

メモ　再生する録音データは、複数まとめて選択することはできません。1 件ずつ再生してください。

6 録音データをパソコンで再生できる形式（WAVEファイル）に変換するときは、変換したい録音データのチェックボックス（ □ ）をクリックしてチェックする

複数の録音データをチェックして、まとめて変換することもできます。

7 変換した録音データを保存するフォルダを、［参照］ボタンを押して指定する

8 ［変換］ボタンを押す

変換を開始します。

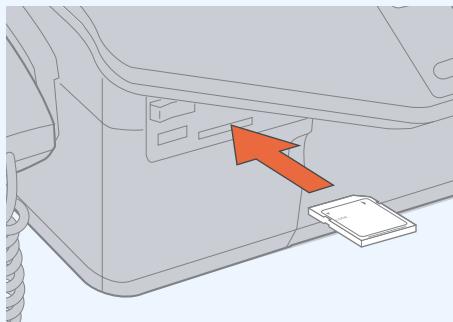
9 変換を終了し、アプリケーション画面を閉じるときは、画面右上の ☒ をクリックする

10 本体からメモリーカードを取り出す

☞パソコンで使用したメモリーカードを取り出す

パソコンに直接取り付けている場合は、パソコンの取扱説明書をご覧のうえ、正しく取り出してください。

本機をパソコンのリムーバブルディスクとして使用する（part 1）

本機のメモリカードスロットにセットしたメモリーカードを､パソコン上でリムーバブルディスクとして使用することができます。本機では、SD メモリーカード、マルチメディアカードなどが使用できます。使用できるメモリーカードの詳細については、取扱説明書の「推奨メモリーデバイスについて」をご覧ください。

- デジタルカメラなど他の機器と共有して使用するメモリーカードは、必ず使用する機器でフォーマットしてください。
- 本機でメモリーカードを使用すると、パソコンからメモリーカードが見えなくなります（取り外された状態と同じ）。こんなときは、いったんメモリーカードを本機から抜き取って、もう一度挿入してください。

パソコンでメモリーカードを使用する

1 メモリーカードを本機のメモリカードスロットに挿入する

メモリーカードの挿入方法については､付属の取扱説明書の「フォトプリント」の項の「メモリーカードを取り付ける」をご覧ください。

2 USB 接続の場合は､[コンピュータ] を開き､[リムーバブルディスク] アイコンをダブルクリックする LAN 接続の場合は、パソコンのデスクトップにある をダブルクリックする

メモリーカードの内容が表示され､ファイルの移動やコピー、削除が行えます。

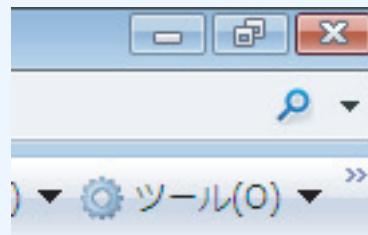
- LAN 接続の場合､USB メモリーもリムーバブルディスクとして使用することができます。
  USB メモリーは、本機の外部メモリー接続端子にセットしてください。
- 接続方法に合わせて、本機の「外部メモリーアクセス設定」を切り替えてください。
  くわしくは、付属の取扱説明書をご覧ください。

☞ パソコンでメモリーカードを使用する（続き）

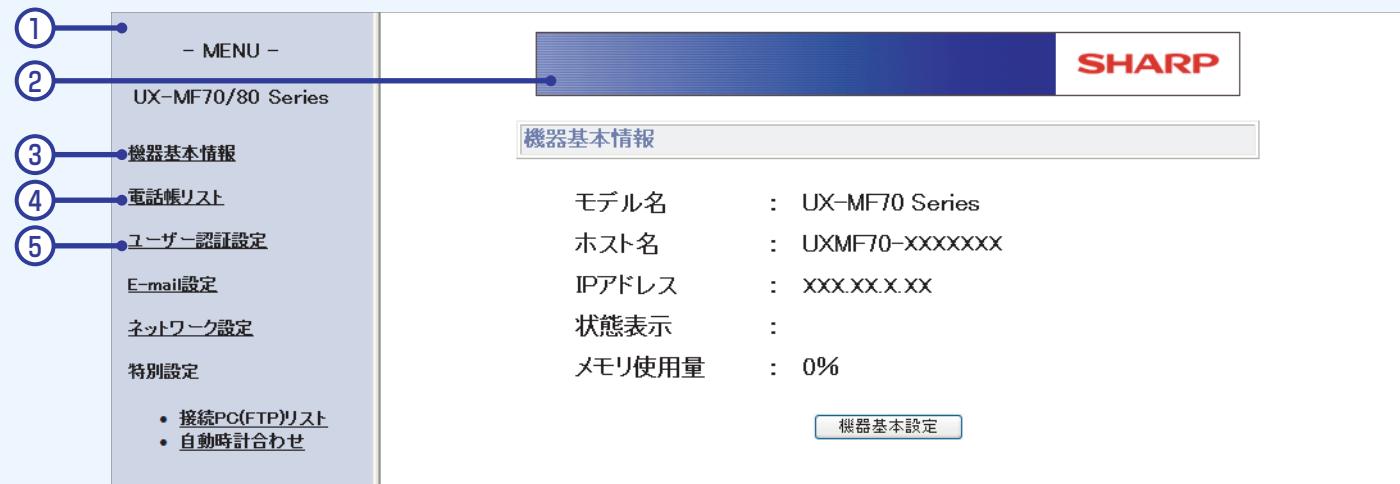
パソコンでメモリーカードを使用する（続き）

- 本機の「外部メモリー書き込み設定」が「書き込み禁止」に設定されていると、ファイルの移動や削除ができません。付属の取扱説明書をご覧ください。
- SD メモリーカードには、データの誤消去を防止するために「書き込み禁止スイッチ」がついています。データを移動したり削除するときは、「LOCK」が解除されていることを確認してから使用してください。
- Windows 2000 SP4 以上 /XP/Vista でのみ使用できます。
- LAN接続の場合、Webブラウザのアドレス入力欄に本機のホスト名を入力しても、メモリーカードの内容を表示させることができます。
  入力例：ftp://UXMFXX-XXXXXXXX
  （XX-XXXXXXXX の部分は、製品ごとに異なります。）
  ホスト名は、本機の「ネットワーク情報表示」の設定で確認できます。くわしくは付属の取扱説明書をご覧下さい。
- 本機の「ネットワークアクセス制限」の設定によっては、メモリーカードの内容を表示できないことがあります。くわしくは付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機の「FAX ／録音メモリー選択」を「外部メモリー」に設定しているときは、この機能は使用できません。くわしくは付属の取扱説明書をご覧ください。

Web 画面の表示方法（LAN 接続時のみ）

本機には Web サーバーが組み込まれています。Web サーバーにパソコンの Web ブラウザを使ってアクセスし、本機の状態の確認や、設定の変更ができる Web 画面を表示することができます。
Web ブラウザは、Internet Explorer 6.0 以上をお使いください。
Web 画面では、スキャンしたデータや受信したファクスを電子メールで送るための設定をすることもできます。
この機能は、LAN 接続でドライバをインストールしたときのみお使いになれます。USB 接続ではお使いになれません。

1 ドライバ（LAN 接続用）のインストール後に、デスクトップに作成される下記のアイコンをダブルクリックする

2 設定を終了し、Web 画面を閉じるときは、画面右上の をクリックする

メモ

- Webブラウザのアドレス入力欄に、本機のIPアドレスまたはホスト名を入力して Web 画面を表示することもできます。
  IP アドレスまたはホスト名は、本機の「ネットワーク情報表示」の設定で確認できます。くわしくは付属の取扱説明書をご覧ください。
  ホスト名を入力する場合の例：
  http://UXMFXX-XXXXXXXX
  （XX-XXXXXXXX の部分は、製品ごとに異なります。）

Web 画面について (part 1)

Web 画面では、画面左側のメニューフレームに表示される項目をクリックすると、右側に詳細ページが表示されます。

① **メニューフレーム**
ここに表示されているメニューをクリックして、設定や登録を行います。

② **「見楽るホームページ」へのリンク**
クリックすると、インターネットに接続し、本機のホームページを表示します。

③ **機器基本情報**
モデル名や現在の本機の状態を表示します。
発信元番号・発信元名を登録することもできます。
☞機器基本情報ページについて

④ **電話帳リスト**
親機で登録した電話帳の内容を表示します。
あらたに登録したり、修正、削除することもできます。
☞電話帳リストページについて

⑤ **ユーザー認証設定**
Web 設定の内容や、親機に取り付けているメモリーカードの内容を保護するパスワードの設定などができます。
☞ユーザー認証設定ページについて

Web 画面について (part 2)

⑥ E-mail 設定

スキャンしたデータや受信したファクスを電子メールで送るための設定ができます。

☞E-mail 設定ページについて

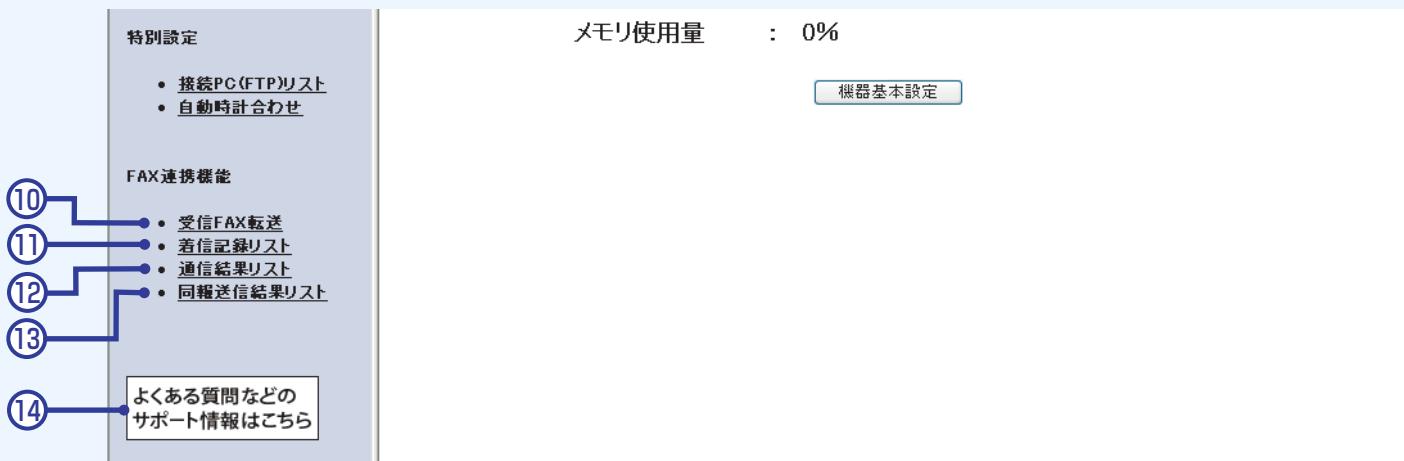
⑦ ネットワーク設定

IP アドレスなどの設定ができます。

☞ネットワーク設定ページについて

⑧ 接続 PC（FTP）リスト

スキャンしたデータを FTP サーバーおよびパソコンへ送るための設定ができます。
パソコンへ送る場合は、送りたいパソコンに LAN 接続用のドライバをインストールしてください。

☞接続 PC（FTP）リストページについて

⑨ 自動時計合わせ

インターネットの時刻サーバーと同期して、本機の時計を自動的に合わせることができます。

Web 画面について (part 3)

⑩ 受信 FAX 転送

本機で受信したファクスを、E-mail などで転送するかどうかを設定できます。

☞受信 FAX 転送設定

⑪ 着信記録リスト

ファクスや電話の着信記録を Web 画面で確認することができます。

⑫ 通信結果リスト

ファクスの通信結果リストを Web 画面で確認することができます。

⑬ 同報送信結果リスト

ファクスの同報送信結果リストを Web 画面で確認することができます。

⑭「見楽るサポートページ」へのリンク

クリックすると、インターネットに接続し、本機のサポート情報ページを表示します。

機器基本情報ページについて

機器基本情報ページでは、「モデル名」「ホスト名」「IP アドレス」「親機の状態」「親機のメモリ使用量」が表示されます。
また、発信元番号および発信元名の設定をすることもできます。

① **機器基本情報**
本機についての基本的な情報が表示されています。「状態表示」および「メモリ使用量」に表示されている情報は、親機の状態とメモリ使用量です。

② **[機器基本設定] ボタン**
クリックすると機器基本設定ページが表示され、発信元番号および発信元名の設定ができます。

発信元番号および発信元名を設定する

1 **[機器基本設定] ボタンをクリックし、機器基本設定ページを表示する**

2 **「発信元番号」および「発信元名」に番号や名前を入力し、[決定] ボタンをクリックする**

電話帳リストページについて (part 1)

電話帳リストページでは、登録済みの電話帳データが一覧表示されます（最大 200 件まで）。
あらたに登録したり、登録済みのデータの修正や削除をすることもできます。

① [新規登録] ボタン
クリックすると電話帳設定ページが表示され、電話帳の新規登録ができます。

② [編集] ボタン
登録内容を修正したいデータのチェック欄（④）をチェックしてから、このボタンをクリックすると、電話帳設定ページが表示され、データを修正できます。

③ [削除] ボタン
削除したいデータのチェック欄（④）をチェックしてから、このボタンをクリックすると、削除確認のページが表示されます。

④ チェック欄
修正や削除を行うデータを選ぶときに、ここをクリックします。クリックすると、そのデータがチェックされた状態になります。

電話帳データを登録する

1 [新規登録] ボタンをクリックし、電話帳設定ページを表示する

2 各項目を入力し、[決定] ボタンをクリックする

「名前」および「読み」と、「電話番号」または「E-mail アドレス」を入力せずに登録することはできません。

電話帳リストページについて (part 2)

登録済みの電話帳データを修正する

1 修正したいデータのチェック欄（◎）をクリックしてチェックする

2 [編集] ボタンをクリックし、電話帳設定ページを表示する

3 各項目を修正し、[決定] ボタンをクリックする

「電話番号」または「E-mail アドレス」を入力せずに登録することはできません。

登録済みの電話帳データを削除する

1 削除したいデータのチェック欄（◎）をクリックしてチェックする

2 [削除] ボタンをクリックする

3 [はい] ボタンをクリックする

ユーザー認証設定ページについて　(part 1)

ユーザー認証設定ページでは、ユーザー名およびパスワードの設定ができます。
パスワードを設定しておくと、「Web 画面で何らかの設定をするとき」および「親機に取り付けているメモリーカードへ接続するとき」に、パスワード入力画面を表示させて設定内容やデータを保護することができます。

① ユーザー名
ユーザー名を入力します。

② パスワード
半角英数字で、パスワード（19 文字以内）を入力します。

③ パスワード確認入力
②に入力したものと同じパスワードを再入力します。

④ パスワード入力設定
「設定変更認証に使用する」にチェックすると、Web 画面で何らかの設定をするときに、パスワード入力が必要な設定になります。
「カードアクセス認証に使用する」にチェックすると、親機に取り付けているメモリーカードへ接続するときに、パスワード入力が必要な設定になります。

⑤ [決定] ボタン
設定した内容を確定します。

ユーザー名を設定する

1 「ユーザー名」に名前を入力し、[決定] ボタンをクリックする

ユーザー認証設定ページについて　(part 2)

パスワードを設定する

1 「パスワード」に任意のパスワード（半角英数字のみ／ 19 文字以内）を入力する

入力したパスワードは「●●●●●●●●●」のように表示されます。

2 「パスワード確認入力」にもう一度同じパスワードを入力する

入力したパスワードは「●●●●●●●●●」のように表示されます。

3 「設定変更認証に使用する」および「カードアクセス認証に使用する」の左側のチェックボックス（ ☐ ）をクリックしてチェックする

どちらか一方だけチェックすることもできます。

4 [決定] ボタンをクリックする

ご注意

- パスワードは、必ず控えを取るなどして覚えておいてください。
  もしも忘れてしまった場合は、本機の「パソコン関連設定」内の「ネットワーク設定の初期化」の操作で、パスワードを消去することができます。操作方法については、付属の取扱説明書をご覧ください。
  なお、「パソコン関連設定」内の他の設定も初期状態に戻りますので、必要な設定の内容は控えておいてください。

E-mail 設定ページについて (part 1)

スキャンしたデータを電子メールで送るための設定ができます。
実際の送信は、ここで必要な項目を設定したあと、親機の操作で行います。付属の取扱説明書の「受信したファクスを電子メールで送る（LAN 接続時のみ）」「読み取ったデータを電子メールで送る（LAN 接続時のみ）」をご覧ください。
各項目については、サービスプロバイダまたはネットワークの管理者にご確認ください。

E-mail 設定

- SMTP設定 -

①
SMTPサーバー名(半角英数字最大49文字) ※ :
ポート番号 (0~65535までの半角数字) ※ : XX

- 認証オプション -

②
メール送信で認証が必要ない場合は「認証なし」を選択してください。
SMTP認証を使用する場合は、「SMTP認証(SMTP-auth) 設定する」をチェックして必要な設定をしてください。
POP before SMTPを使用する場合は、「POP before SMTP 設定する」をチェックして必要な設定をしてください。

☑ 認証なし
☐ SMTP認証(SMTP-auth)設定する
☐ POP before SMTP 設定する

POPサーバー名 (半角英数字最大49文字) :
ポート番号 (0~65535までの半角数字) :
ユーザー名 (半角英数字最大31文字) :
パスワード (半角英数字19文字) :
パスワード確認入力 :

- 送信仕様設定 -

③
発信アドレス (半角英数字最大49文字)※ :
タイトル (最大79文字) : UX-MF70/80Seriesからの送信画像です
本文 (最大239文字) : 画像を添付します

☐ メールの送信日付に本体機器の日付を利用する
(チェックがない場合はサーバーが付加する日付を利用します)

※は入力必須項目です。登録するときは必ず入力してください

④ 決定

① SMTP 設定

電子メールを送信するために必要な、SMTP サーバー名とポート番号を入力します。

② 認証オプション

ご使用の SMTP サーバーが、メール送信時に SMTP 認証もしくはPOP before SMTPでの認証を要求することがあります。※
このような場合は、「SMTP 認証（SMTP-auth）設定する」または「POP before SMTP 設定する」にチェックして、必要な情報を入力してください（POP は POP3 を意味しています）。
※この場合、「認証なし」の設定ではエラーとなり、メールが送信できません。詳しくはサービスプロバイダ、またはネットワーク管理者にお問い合わせください。

③ 送信仕様設定

発信元の電子メールアドレス、タイトル（件名）、本文の入力、送信日付の設定を行います。

④ [決定] ボタン

設定した内容を確定します。

E-mail 設定ページについて (part 2)

SMTP 設定をする

1 「SMTP サーバー名」および「ポート番号」を入力し、[決定] ボタンをクリックする

－ SMTP設定 －
SMTPサーバー名（半角英数字最大49文字）※ ：
ポート番号 （0～65535までの半角数字）※ ： 25

サービスプロバイダからの指定のポート番号を入力してください。指定がない場合は、ポート番号には「25」を入力してください。

認証オプションを設定する

1 次のいずれかのチェックボックス（ ）をクリックしてチェックする（認証が必要な場合）

・「SMTP 認証（SMTP-auth）設定する」
・「POP before SMTP 設定する」

メール送信で認証が必要ない場合は「認証なし」を選択してください。
SMTP認証を使用する場合は、「SMTP認証(SMTP-auth) 設定する」をチェックして必要な設定をしてください。
POP before SMTPを使用する場合は、「POP before SMTP 設定する」をチェックして必要な設定をしてください。
☑認証なし
☐SMTP認証(SMTP-auth)設定する
☐POP before SMTP 設定する

2 各項目を入力し、[決定] ボタンをクリックする

サービスプロバイダからの指定がない限り、ポート番号には「110」を入力してください。(POP before SMTP 設定時)

送信仕様設定をする

1 各項目を入力し、[決定] ボタンをクリックする

「発信アドレス」には、サービスプロバイダでご利用のメールアドレスを入力してください。

「タイトル」および「本文」には、あらかじめ下記の文章が入力されていますが、自由に変更することができます。

タイトル：UX-MF70/80 Seriesからの送信画像です
本文：画像を添付します

「メールの送信日付に本体機器の日付を利用する」の左側のチェックボックス（ ）をクリックしてチェックすると、本体側で設定されている日付が、メールの送信日付として使用されます。

ネットワーク設定ページについて

ネットワーク設定ページでは、ネットワーク接続の設定ができます。

① **IP アドレス設定**
IP アドレスなど、ネットワーク接続に必要な情報を入力します。

② **MAC アドレス**

③ **SNMP 設定**
SNMPのコミュニティ名を入力します。あらかじめ「private」が入力されています。

④ **[決定] ボタン**
設定した内容を確定します。

IP アドレス設定をする

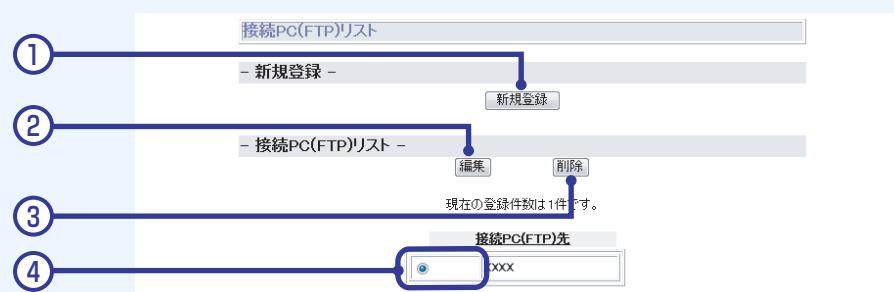
通常、この設定には自動的に必要な情報が入力されます。ネットワーク情報をご自分で設定される場合や、DHCP サーバー機能を使用されない場合のみ、下記の操作で設定してください。

1 **「DHCP 自動割当使用する」の左側のチェックボックス（ ☑ ）をクリックしてチェックを外す**

2 **各項目を入力し、[決定] ボタンをクリックする**

SNMP 設定をする

特定のパソコンでのみプリンタの状態を監視したい場合などは、下記の操作で設定してください。

1 **「コミュニティ名」を入力し、[決定] ボタンをクリックする**

コミュニティ名を変更した場合は、パソコン側のネットワークツールの設定画面でも同じコミュニティ名を入力してください。

☞ネットワークツールについて（LAN 接続時のみ）

接続 PC（FTP）リストページについて (part 1)

接続 PC（FTP）リストページでは、スキャンしたデータを FTP サーバーおよびパソコンへ送るための設定ができます。（ここでは設定のみ行います）。実際の操作については、付属の取扱説明書の「受信したファクスをパソコンに送る（LAN 接続時のみ）」「読み取ったデータをパソコンに送る（LAN 接続時）」をご覧ください。
パソコンへ送る場合は、送りたいパソコンへ LAN 接続用ドライバをインストールしてください。
登録した設定は、一覧で表示されます（最大 20 件まで）。

① **[新規登録] ボタン**
クリックすると接続 PC（FTP）設定ページが表示され、FTP 送信先の新規登録ができます。

② **[編集] ボタン**
登録内容を修正したい FTP 送信先のチェック欄（④）にチェックしてから、このボタンをクリックすると、接続 PC（FTP）設定ページが表示され、FTP 送信先を修正できます。

③ **[削除] ボタン**
削除したい FTP 送信先のチェック欄（④）にチェックしてから、このボタンをクリックすると、削除確認のページが表示されます。

④ **チェック欄**
修正や削除を行う FTP 送信先を選ぶときに、ここをクリックします。クリックすると、その FTP 送信先がチェックされた状態になります。

接続 PC（FTP）リストページについて (part 2)

FTP 送信先を登録する

1 [新規登録] ボタンをクリックし、接続 PC（FTP）設定ページを表示する

接続PC(FTP)設定

ホスト名(IPアドレス)	(半角英数最大49文字) ※	:	
ポート番号	(0～65535の半角数字)※	:	
ニックネーム	(全角最大10文字)	:	
ディレクトリ名	(半角英数最大89文字)	:	
モード		:	◉ active ○ passive

☑ Anonymous接続する

ユーザー名	(半角英数最大31文字)	:	
パスワード	(半角英数19文字)	:	
パスワード確認入力		:	

[決定]

- ※は入力必須項目です。登録するときは必ず入力してください。
- ニックネームはホスト名(IPアドレス)の別名です。ホスト名に好みの名前を付ける場合に使用します。
- ディレクトリ名は汎用のFTPサーバーを使用してファイルの保存場所を指定する場合に使用します。ドライバをインストールしたPCに送る場合はPC上のネットワークツール側で保存場所を指定できるため通常設定する必要がありません。

2 各項目を入力し、[決定] ボタンをクリックする

ポート番号および Anonymous（匿名）接続しない場合の各項目については、FTP サーバーの管理者にご確認ください。

「ホスト名（IP アドレス）」および「ポート番号」を入力せずに登録することはできません。

Anonymous 接続をしないときは、「Anonymous 接続する」の左側のチェックボックス（ ☑ ）をクリックしてチェックを外したあと、各項目を入力してください。ポート番号、ユーザー名、パスワードの設定をネットワークツールの設定と併用することで、ユーザーの制限ができます。

- LAN 接続用ドライバインストール時に、自動的にお使いのパソコンが FTP 送信先として登録されます。「ホスト名（IP アドレス）」欄にはお使いのパソコンのコンピュータ名が表示されます。

接続 PC（FTP）リストページについて (part 3)

登録済みの FTP 送信先を修正する

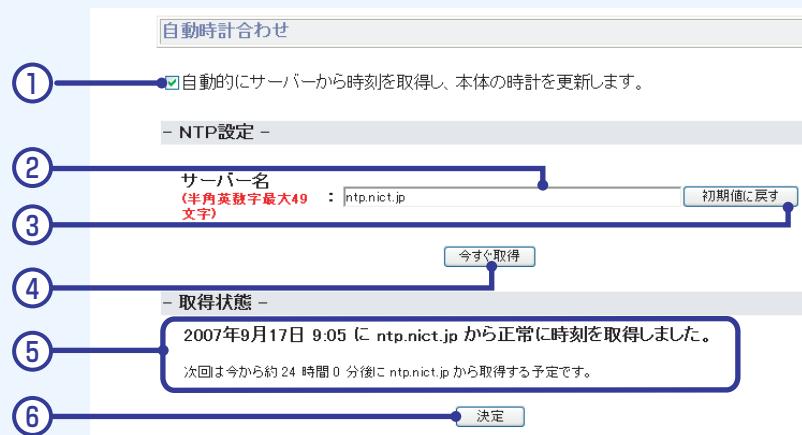
1 修正したい FTP 送信先のチェック欄をクリックしてチェックする

本機の LAN ドライバをインストールすると、自動的に使用しているパソコンが「FTP 送信先」として登録されます。

2 [編集] ボタンをクリックし、接続 PC（FTP）設定ページを表示する

3 各項目を修正し、[決定] ボタンをクリックする

「ホスト名（IP アドレス）」および「ポート番号」を入力せずに登録することはできません。

登録済みの FTP 送信先を削除する

1 削除したい FTP 送信先のチェック欄をクリックしてチェックする

2 [削除] ボタンをクリックする

自動時計合わせについて

インターネットの時刻サーバと同期することによって、本機の内蔵時計を自動的に合わせることができます。

① **自動設定切り替え**
自動時計合わせを有効にするときにチェックします。

② **サーバー名**
本機と時刻を同期させる時刻サーバーを指定します。
工場出荷時は「ntp.nict.jp」が入力された状態になっています。

③ **[初期値に戻す] ボタン**
サーバー名を工場出荷時の状態に戻します。

④ **[今すぐ取得] ボタン**
クリックすると、設定したサーバーと同期して、本機の時計を合わせます。

⑤ **取得状態**
最後に時計を合わせた時刻と、次回に時計を合わせる予定時刻が表示されます。

⑥ **[決定] ボタン**
設定した内容を確定します。

ご注意
直接インターネットへアクセスできないネットワーク環境の場合は、工場出荷時の設定で自動時計合わせが動作しない場合があります。詳しくはネットワークの管理者にご確認ください。

受信 FAX 転送設定

本機で受信したファクスを、E-mail、FTP、ファクスに転送するように設定できます。

① **転送設定**

受信ファクスの転送先を設定します。E-mail、FTP、ファクスのいずれかを設定することができます。
転送先は 1 件のみ登録できます。

② **自動消去設定**

受信ファクスを転送したあと、本機のメモリー内にある受信データを消去するかどうか設定します。
親機の FAX/ 録音メモリーを「外部メモリー」に設定している場合は、設定しても消去されません。

③ **E-mail, FTP 転送時のモノクロ FAX 添付ファイル形式**

モノクロの受信ファクスを E-mail や FTP で転送したときのファイル形式を設定できます。

④ **[決定] ボタン**

設定した内容を確定します。

こんなときは

印刷やスキャンのトラブル対処方法について説明しています。
用紙切れや紙づまり、インクカートリッジの交換、プリンタエラーの解除方法や LAN 接続時のトラブルについては、付属の取扱説明書をご覧ください。

印刷やスキャンができない

印刷のトラブル

スキャンのトラブル

印刷やスキャンができない

接続の確認

■ インタフェースケーブルがパソコンや本機に合っていない

本機で使用できるインタフェースケーブルは、USB ケーブルまたは LAN ケーブル（10BASE-T/100BASE-TX のストレートケーブル）です。お使いのパソコンが USB または LAN インタフェースをサポートしているか確認してください。USB ケーブルまたは LAN ケーブルは、市販のものをお使いください。

■ ケーブルがはずれている

本機側のコネクターと接続する機器のコネクターに、USB ケーブルまたは LAN ケーブルがしっかりと差し込まれていることを確認してください。
接続方法については、取扱説明書の「USB 接続でお使いになるとき」または「LAN 接続でお使いになるとき」をご覧ください。

■ 他の USB 機器を使用している

ハブを使って本機とパソコンを USB 接続している場合、他の USB 機器を接続しないで印刷やスキャンができるか、または本機とパソコンを直接接続して印刷やスキャンができるか確かめてください。また、プリンタドライバをインストールしたときに接続したポートに USB ケーブルを接続し、印刷やスキャンができるか確かめてください。

■ ケーブルを抜いてしまったときは

本機を操作中に一度でも USB ケーブルまたは LAN ケーブルを抜いてしまった場合は、印刷やスキャンができなくなることがあります。そんなときは、ケーブルの接続を確かめて、お使いのパソコンを再起動してください。

パソコン側の確認

■ パソコンのメモリーやハードディスクの空き容量が不足している

本機を使用するためには、メモリーやハードディスクの空き容量を十分に確保しなければなりません。確保されていない場合は、不要なデータを削除し、ハードディスクの空き容量を増やしてください。また、メモリーが不足している場合は、必要でないアプリケーションをいったん終了させてください。

本機側の確認

■ 電源が入っていない

電源コードがしっかりと接続されているか確認してください。

ソフトウェアの削除方法

何らかの原因で印刷やスキャンができないときは、SHARP UX-MF70/80 シリーズソフトウェアを削除したあとインストールし直してください。
ソフトウェアの削除は、「プログラムのアンインストール」（Windows XP では「プログラムの追加と削除」、Windows 2000 では「アプリケーションの追加と削除」）で行います。「SHARP UX-MF70/80」または「SHARP UX-70/80(LAN)」を削除してください。
また、付属の CD-ROM から各インストールを選択することでも、ソフトウェアを削除できます。

プリンタドライバの確認

■ プリンタドライバが正しくインストールされていない

以下の手順でプリンタドライバがインストールされているか確認してください。

1 [スタート]ボタン（ ）→[コントロールパネル]→[プリンタ]と、順にクリックする

Windows XPをお使いの場合は、[スタート]ボタンをクリックし、[プリンタとFAX]をクリックします。
Windows 2000をお使いの場合は、[スタート]ボタンをクリックし、[設定]を選択して[プリンタ]をクリックします。

2 「SHARP UX-MF70/80 Series」または「SHARP UX-MF70/80 Series(LAN)」プリンタアイコンがあるかどうか確認する

本機のプリンタアイコンが表示されていないときは、プリンタドライバが正しくインストールされていません。取扱説明書をご覧になってプリンタドライバを正しくインストールしてください。

■ ポートが正しく設定されていない

他のプリンタドライバがすでにインストールされている場合などは、ポートが正しく設定されていない可能性があります。プリンタドライバの設定画面を開き、実際に使用しているポートを正しく設定してください。

■ 印刷するアプリケーションで、本機を正しく指定していない

アプリケーションの「印刷」ダイアログボックスで、本機のプリンタドライバを選択してください。
プリンタドライバがアイコンで表示されているときは、使用するプリンタアイコンをクリックします。
プリンタドライバの選択欄がドロップダウンリストのときは、リストから使用するプリンタを選択します。

☞基本的な印刷のしかた

本機で印刷することが多い場合は、本機を「通常使うプリンタ」に設定することをおすすめします。

1 [スタート]ボタン（ ）→[コントロールパネル]→[プリンタ]と、順にクリックする

Windows XPをお使いの場合は、[スタート]ボタンをクリックし、[プリンタとFAX]をクリックします。
Windows 2000をお使いの場合は、[スタート]ボタンをクリックし、[設定]を選択して[プリンタ]をクリックします。

2 「SHARP UX-MF70/80 Series」または「SHARP UX-MF70/80 Series(LAN)」プリンタアイコンがあるかどうか確認する

3 アイコンの上で右クリックし、メニューから「通常使うプリンタに設定」をクリックする

何らかの原因でプリンタドライバが正常に動作しないときは、ソフトウェアを削除したあと、インストールし直してください。

☞ソフトウェアの削除方法

印刷が遅い

■ 同時に複数のアプリケーションを使用している
使用していないアプリケーションをすべて終了してから印刷を開始してください。

■ プリンタドライバの印刷品質の設定が適切でない
プリンタドライバ設定画面の [機能] タブの「印刷品質」設定が [高画質] または [最大 dpi] に設定されていると、印刷速度が遅くなります。印刷データに応じて適切な画質設定を行ってください。

☞[機能]タブの設定

■ インクバックアップモードになっている
本機にインクカートリッジがいずれか1つしかセットされていない場合は、インクバックアップモードになります。インクバックアップモードで印刷すると、プリンタの動作が遅くなり、印刷結果の品質にも影響が出ます。インクバックアップモードを終了するには、本機にインクカートリッジを 2 つ取り付けてください。

☞インクカートリッジのセット

インクがにじんだり薄く印刷される

■ 適応していない用紙を使用している
仕様に合った用紙を使用しているか確認してください。適応している用紙については、取扱説明書の「セットできる用紙の枚数」をご覧ください。

■「用紙の種類」の設定が適切でない
用紙トレイにセットしている用紙が、「用紙の種類」で正しく設定されているかを確認してください。

■ 湿気を含んだ用紙を使用している
反りがなく湿気を含んでいない用紙など、状態の良い用紙を使用してください。

■ セットした用紙の表裏をまちがえている
用紙の種類によっては表裏がある場合があります。誤って用紙トレイにセットしてしまうとインクののりが悪くなり、きれいに印刷することができません。印刷面を下にしてセットしてください。

■ 印刷面に凹凸がある用紙に印刷している
封筒の裏面に印刷する場合など、継ぎ目部分には正しく印刷できない場合があります。

■ 印刷品質を「はやい（最速)」に設定している
「はやい（最速)」にすると、インクの消費量を抑えて印刷を行うため、印刷結果は薄くなります。

印刷のトラブル (part 3)

印刷が粗い

■ プリンタドライバの設定が印刷データに合っていない

プリンタドライバ設定画面の [機能] タブで、印刷品質を選択することができます。写真などの画像データを印刷する場合は、[Real Life Technologies [RLT]] ボタンをクリックして画像を補正することができます。印刷データに適した設定を行って印刷し直してください。

☞[機能]タブの設定

ただし、Windows Vista をご利用の場合に、「Windows フォトギャラリー」をご使用のときは、画像の補正は無効になります。

印刷がゆがむ

■ 用紙が正しくセットされていない

傾いたり曲がって印刷されるときは、用紙トレイの用紙ガイドを用紙の側面にきっちり合わせ、もう一度印刷してください。用紙ガイドと用紙の間に隙間があると、ゆがんだ状態で印刷されることがあります。
用紙のセットのしかたについては、取扱説明書をご覧ください。

印刷が欠ける

■ アプリケーションのレイアウト設定で、余白を正しく設定していない

フチ無し印刷を設定しているとき以外は、用紙の端から約 3mm 以内の範囲には印刷することができません。アプリケーションで用紙設定を行うときは、用紙の上下左右に 3mm 以上の余白を設定してください（用紙のサイズによっては、より多くの余白が必要な場合もあります）。

■ プリンタドライバで設定した用紙サイズがセットした用紙のサイズと合っていない

[機能] タブの [用紙サイズ] の設定が本機にセットした用紙サイズと合っているか確認してください。[機能] タブの [文書を印刷する用紙] にチェックしている場合は、ドロップダウンリストで選択した用紙サイズが、セットした用紙サイズと合っているか確認してください。

☞[機能]タブの設定

■ プリンタドライバの印刷の向きが正しく設定されていない

プリンタドライバの設定画面の [機能] タブをクリックし、[印刷の向き] の設定を「縦向き」または「横向き」いずれかから選び、印刷したい方向になっているかを確認してください。

☞[機能]タブの設定

白い横線が入る

■ 診断ページの結果に問題がある

プリンタドライバ設定画面 [機能] タブまたは [カラー] タブの、[プリンタサービス] ボタンをクリックすると表示されるツールボックス画面から、診断ページを印刷できます。診断ページの印刷結果に従い、プリンタの調整やインクカートリッジのクリーニングを行ってください。

☞プリンタサービスについて

罫線がずれる

■ プリンタ位置がずれている

プリンタドライバ設定画面 [機能] タブまたは [カラー] タブの、[プリンタサービス] ボタンをクリックすると表示されるツールボックス画面から、インクカートリッジの調整を行ってください。

☞プリンタサービスについて

また、本機の操作で直接インクカートリッジの調整を行うこともできます。詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

カラー印刷ができない

■ プリンタドライバの設定がカラー印刷に設定されていない

プリンタドライバ設定画面の [カラー] タブをクリックし、[グレースケールで印刷] チェックボックスにチェックマークが付いていないか確認してください。

☞[カラー]タブの設定

■ インクバックアップモードになっている

本機に黒インクカートリッジまたはフォトインクカートリッジのいずれか 1 つしかセットされていない場合は、インクバックアップモードになりカラー印刷できません。本機にカラーインクカートリッジを取り付けてください。

☞インクカートリッジのセット

スキャンのトラブル (part 1)

スキャン結果の画質が悪い

■ 原稿が汚れている

スキャンした原稿を確認してください。原稿にごみなどがあると、スキャン結果がきれいになりません。また、原稿台のガラス面がきれいになっているかも確認してください。
UX-MF80 シリーズをお使いのときは、ADF 内のスキャン部分もご確認ください。

■ 解像度の設定が低い

スキャナドライバの「解像度」の設定の数値を上げて、再度スキャンしてみてください。

■ しきい値が正しく設定されていない

TWAIN ドライバを使用し、モノクロ２階調でスキャンするときは、「しきい値」を適切に設定したかを確認してください。「しきい値」を上げれば黒色が強くなり、逆に数値を下げれば白色が強くなります。

■ 明るさとコントラストが正しく設定されていない

スキャンした結果が明るすぎるなど、明るさとコントラストの設定が適切でない場合には、「コントラスト」と「明るさ」で調整します。「スキャナとカメラウィザード」(Windows XP のみ) や WIA 対応のアプリケーションでスキャンするときは [スキャンした画像の品質の調整] や [カスタム設定] をクリックして明るさやコントラストを調整してください。
Windows フォトギャラリー (Windows Vista のみ) でスキャンするときは、スキャナ設定画面から明るさやコントラストを調整してください。

スキャン結果の位置がおかしい

■ 原稿がまっすぐにセットされていない

原稿をセットするときは、用紙が斜めにならないようにまっすぐにセットしてください。

■ 原稿が正しくセットされていない

原稿を正しくセットしてください。
☞原稿のセット方法

■ スキャンの読み取りエリアがおかしい

部分読み取りなどで、読み取りエリアを変更したときは、正しい読み取りエリアに戻してください。
スキャンする前にプレビューを行うことで、読み取りエリアを確認することができます。

スキャンできない

スキャンできないときは、まずお使いのパソコンを終了し、本機の電源コードを抜き差ししたあとパソコンを起動して、スキャンできるかをもう一度確かめてください。それでもスキャンできないときは以下の項目を確かめてください。

■ お使いのアプリケーションが TWAIN/WIA に対応していない

お使いのアプリケーションが TWAIN/WIA に対応していない場合は、画像を取り込むことができません。お使いのアプリケーションが TWAIN/WIA に対応しているか確認してください。

■ アプリケーションで本機のスキャナドライバを選択していない

TWAIN 対応のアプリケーションでは「SHARP MFP TWAIN R」、WIA 対応のアプリケーションでは「WIA-SHARP UX-MF70/80 Series」を選択したか確認してください。

■ スキャン時の設定が正しくない

フルカラー、高解像度の設定で広範囲をスキャンすると、データ容量が大きくなり読み取り時間が長くなります。スキャン時の設定をするときは、原稿の種類（テキスト、写真、モノクロなど）に合わせて解像度を下げるか、適切な読み取り範囲を設定してください。

■ パソコンのメモリーが不足している

お使いのパソコンのメモリーが不足していると、高解像度でスキャンできない場合があります。スキャン時の解像度を低く設定してもう一度スキャンしてください。

■ パソコンに TWAIN ドライバがインストールされていない

Windows Vista ／ XP でご使用のときは、TWAIN ドライバのインストールが必要になります。TWAIN ドライバがない場合は、付属の CD-ROM に収録されている「Sharpdesk」をインストールすると、自動的に TWAIN ドライバもインストールされます。

索引 (part 1)

数字・アルファベット

あ

か

さ

た

な

は

ま

索引

(part 2)

や

ら